

石心会グループ

社会医療法人財団 石心会

医療法人社団 東京石心会

医療法人社団 新東京石心会

社会福祉法人 石心福祉会

<http://www.sekishinkai.or.jp>

海燕

うみ

つばめ

2022年1月

93号

石心会 BULLETIN 隔月刊

発行人：石井暎禧

編集人：辻田征男

発行：石心会法人事務局

〒212-0014 川崎市幸区大宮町 23 番地 5

コーラルビル

TEL 044-511-2266 (代) FAX 044-540-1135

新年のご挨拶

石心会グループ代表

石井暎禧



石心会グループ職員の皆さん、新年あけましておめでとうございます。

昨年中は2020年に引き続き新型コロナウイルスとの闘いに明け暮れた年になりましたが、職員の皆さんの努力と素晴らしい創意工夫とによって満足の行く結果を残せたことを心から感謝いたします。

2022年も新たな変異株の出現で終わりの見えない闘いに突入しそうな現状ですが引き続き皆さんの努力を期待します。

新型コロナウイルスのパンデミックは日本の、いや世界の一般国民のみならず大方の医療人が克服したと思っていた感染症の爆発的感染です。

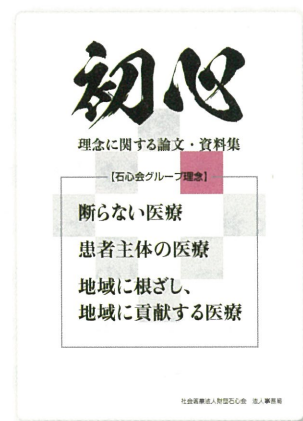
こうした予期せざる事態に対処するにあたって究極の心のよりどころはやはり「我々は何者

か？そして何をやろうとしているのか？」という原則を確認する事に他なりません。

その意味で我々の初心＝基本理念を確認する事は今とても大切だと思います。

私は昨年4月に「初心」という小冊子（石心会の理念集）を皆さんにお配りしました。そこには石心会グループの3つの基本理念の内「断らない医療」について詳しく記しています。

職員の皆さんは今一度「初心」を読み返して下さい。まだ手にしていない職員は事務局に請求して手に入れてぜひ読んでください。



海燕93号 目次

特集:コロナ対策 II

さやま総合クリニック 2

さやま腎クリニック 4

さやま地域ケアクリニック 6

オーリーブ 8

石心会地域ケアセンター 10

さいわい鶴見病院 12

第二川崎幸クリニック 14

川崎クリニック・さいわい鹿島田クリニック 15

新緑脳神経外科 18

アルファメディック・クリニック 19

川崎健診クリニック 20

在宅事業部 22

昭島腎クリニック 27

立川新緑クリニック 29

わかば 30

学会発表一覧 32~47

人事ニュース 48~49

さやま総合クリニック



さやま総合クリニック/
院長

菅野壮太郎



さやま総合クリニック/
事務部長

吉野良平

■コロナウィルス感染症に対する クリニックの基本方針

さやま総合クリニックは、コロナウィルス感染症が蔓延する当初より1日1,300人の来院患者および職員を守ることを主眼に準備をすすめました。

クリニック施設内でクラスターを発生させてしまうと、施設全体を閉鎖しなくてはなりません。地域のかかりつけ医療機関として、機能停止をさせるわけにはいかないという強い意思をもって対策を講じました。

「健診は不要不急である」という方針が各学会から示される中、「疾病の早期発見はコロナ禍においても後回しにすべきでない」という院長、副院長の考えのもと、個人健診は継続させました。

【職員による感染防御の徹底】

職員1人1人による手指消毒、マスク着用など、基本の感染防御は当然のこと、食事中など少しの時間でもマスクを外すタイミングについても事細かく注意しました。

また、職員のご家族まで家庭内での感染防御について協力を要請しました。

他の医療機関に主体を置いている非常勤医師には、状況の変化を細かく連絡いただけるよう依頼し、場合によっては当院への勤務を休んでいただくこともありました。

【来院患者への意識づけ】

看護部、コメディカル部、事務部のスタッフが交替で全入館者の検温を行い、手指消毒を徹底しました。また、入口に大きなポスターを掲示し、「2週間以内の海外渡航者」「発熱37.5℃以上の患者」

には、館内に入る前に警備員に申告してもらうようにしました。

さらに、医療施設へどうしても行きたくないという患者に対しては国の推奨する「電話再診」を導入し、その対応にあたりました。

■「帰国者・接触者外来」の設置

一方で第1波が首都圏で観測される頃、保健所から「帰国者・接触者外来」の設置を強く要請され、検討することになりました。

最も困難な課題は、物理的に患者導線を分けることでした。

開設当初予想していた1日当たりのキャパシティをすでに超えている来院患者数がある中、感染を疑う患者とそれ以外の患者や職員を施設内で交差させないで検査・診断することは不可能に近い状態でした。



ドライブスルーでの検査の様子



そのような時、院長の発案で、建物の外部で「帰国者・接触者外来」を実施することが模索されました。保健所の仲介で、すでに建物の外部で

「ドライブスルー方式」のPCR検査を行っている近隣の病院へ見学に行き、当院でも実施可能と判断。建物オーナーの理解も得られ、プレハブ2基を設置。2020年5月11日から建物わきの通用口を利用して「帰国者・接触者外来」を開始しました。

患者導線を分けることができ、安全に検査・診断を行える環境が整ったところで発熱外来を11月12日から開始。第5波が到達した頃には1日最大25台の車両、患者40人の検査・診断・薬の処方完了まで流れるように提供できるチームが出来ていました。

患者含め、さやま総合クリニックにかかわるすべての人の協力のおかげで、2021年12月1日時点で未だ職員の感染者は0名。クラスターも発生させていません。

しかしながら、いつ襲ってくるかわからない第6波に備え、ゆるみがちな緊張感を強く保つよう定期的に院長からメッセージが発信されています。

■保健所との関係性

国からの明確な指示がないまま業務を託された保健所は、第1波が襲来する頃、地域住民からの問い合わせや陽性患者の対応、加えて陽性患者登録システムに忙殺され、電話をとりきれない状況にありました。

当然ながら医療機関からの問い合わせにも回答できずにいましたので、こちらから積極的に保健所に出向き、保健所長や担当部長と直接協議し提案することで、いくばくかの負担軽減に協力することができました。



院内ワクチン接種の様子

当院としても24時間つながる連絡先を交換できたことで、クラスターを心配する企業への速やかな対応や感染対策にかかわること、陽性患者の速やかな対応に寄与できました。コロナワクチンの一般接種にも協力。平日は毎日30～36人の接種を行い、日曜日には狭山市の集団接種会場で500人の接種を行いました。第3回目のワクチン接種も近々要請があると予想されますが、その準備もできています。

■これまでの総括

日本全体で第5波が急速に衰退し、“嵐の前の静けさ”とでも言えそうな昨今、新たな変異株がジワジワと水際を侵してきています。

これまで述べた通り、さやま総合クリニックにおける感染症対策は、特殊な対策を講じたわけではありません。にもかかわらず幸運にも職員感染者0を継続できているのは、職員1人1人の意識によるものと考えています。

特筆すべきは、日ごろの診療業務に加え、さまざまなコロナ関連のあらたなとりくみに対し、職員を増員することなく、皆の仕事量を少しずつ分け集めた中で「発熱外来」や「帰国者接触者外来」がチームとして成長を続けたことです。

毒性が強いとされた未知のウィルスに立ち向かうには、医療人としての使命感や勇気だけでは成り立ちません。チーム全体の士気と互いの協力関係によるものが大きな力になったと考えます。そのような意味で今回の「コロナ禍」は、さやま総合クリニックのスタッフにとってワンチームとなりえた出来事であり、今後のさまざまな変化にも対応できる職員間の連携を深める機会であったと考えます。

(寄稿日 2021年12月8日)

さやま腎クリニック



さやま腎クリニック /
院長

池田直史



さやま腎クリニック /
事務課長

大石俊

■コロナ対策の基本スタンス

- ①院内侵入防止対策
- ②すでに院内に侵入していることを前提とした蔓延対策

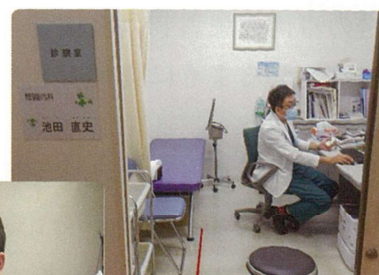
■コロナ対策のこれまで (2020年2月～2021年9月)

「基本的な感染対策の徹底で、患者さんと職員により安全な環境の提供を」

①院内侵入防止対策として、まず患者さんへの周知と感染対策の徹底をお願いしました。関係者以外の入館禁止措置、入館時の検温・入館時の手指消毒をポスターで掲出、換気の徹底、「いつ誰からか、どこからか感染するか分からない」ことを前提に、待合室のテレビ放送を手指消毒ビデオ放送「手洗いの歌」への切り替えを行うほか、池田院長による患者さんへの館内放送では「不要不急の外出自粛、宴席への参加禁止など、非常時における対応の必要性」を強く訴えました。

また、通院患者さんに対しては、自宅を出る前に体調を必ず当院に連絡をするようにお願いしました。体温チェックシートを配布し、患者だけではなく同居家族にも確認をしてもらい、異常があった場合は連絡をもらうようにしています。

②のすでに院内に侵入していることを前提とした蔓延対策では、院内で濃厚接触者をつくらぬような対策を行いました。具体例として院内にいるすべての人の常時マスク着用、患者ベッド間、患者休憩スペース、職員食堂の各席間の飛沫防止板の設置、透析患者への食事提供中止、エレベーター人数制限や各箇所の定期的なアルコール消毒の徹



診察室の様子



池田院長による館内放送

底が行われました。送迎バスについては増便など、混雑回避策を取りながらサービスが継続されました。

「陽性者がでも透析を止めないために地域ケアクリニックと連携して対応」

感染が拡大してからすぐに、コロナ疑似症透析患者（37.5℃以上の発熱がある場合）はさやま地域ケアクリニックを使用して隔離透析を行うことを決めました。当院でも個室が4床、臨時で2床ありますが、地域ケアクリニックでは2つの動線が確保されており、空間的・時間的隔離処置が可能であるため、感染が疑われるもしくは感染者は隔離透析をさやま地域ケアクリニックの個室で行う事が適切だと考えました。結果的に2020年3月中旬には隔離透析用ベッドの増床が行われています。

コロナ疑似症透析患者に対して、PCR採取は当初ドライブスルー方式で行われていましたが、同年5月からはオーダーメイドのPCR採取ボックスを使用して、医療従事者の安全性を確保しながら、自家用車のない患者や車いすの患者などにも対応できる体制がとられました。



隔離透析の様子

職員に対しても感染予防対策が細部に至るまで徹底されました。出勤前の検温と体調報告の徹底、感染対策

とメンタルケアを兼ねた屋上開放による青空休憩の推奨や、休憩室・職員食堂などにおけるマスクを外しての私語厳禁、長期滞在の禁止、更衣室への入室人数制限などを実施しました。

日本透析医会のデータをもとに、新型コロナ感染症透析患者の致死率の高さ、また透析施設は通常の医療機関よりも感染リスクが高い点について職員の理解を求め、行動制限を徹底しました。他院のクラスター情報なども共有しました。例としては外食禁止などの制限に加え、利用可能な施設、不可の施設を各部署が集まる感染ミーティングで具体的に決定し、毎週一度見直しました（現在は隔週での開催）。また、池田院長が中心となってコロナ対応マニュアルの作成も行われました。

職員・外注職員（看護助手、送迎ドライバー、グリーンハウス職員）へのワクチン接種については2021年3～4月に埼玉石心会病院にて実施していただきました。また、院内への出入りが避けられない業者等へのワクチン接種もそのタイミングで併せて実施していただきました。透析患者・保存期外来かかりつけ患者への院内でのワクチン接種については7月初旬より開始し、現時点で約95%の透析患者さんが2回目の接種を終えている状況です。

「これまでの院内新型コロナ対策の振り返りと将来への備え」

時々刻々と変化する状況に応じて対応策が変わる「朝令暮改」は当然のこととして受け止め、むしろその対応の変化がいつ、どのような経緯で実施されたかを記録することが重要だと思います。今後も未知の感染症が蔓延する可能性は否定できないため、今回その時々で下された判断、

実際に自分たちが取った行動について、反省点も含めて記録に残しておくことが将来への備え、財産になると考えています。

感染拡大に伴い、枯渇する医療資材の在庫管理と緊急対応、職員の疲弊が目立ってくると通常の医療提供自体が難しい状況に陥り、頭を悩ますことが多々ありましたが、医療機関にとって、患者最優先であることに変わりはありません。日々の診療を支えているのは一人一人の職員です。産業医の力も借りながら、職員への手厚いメンタルヘルスケアに重きを置くべきだと強く思います。そのことが結果的に緊急事態下においても医療の質の担保と継続的なサービス提供につながると思います。

■現在の問題点

現在、大きな問題だと感じているのは、透析室内のベッド間の距離が近く、透析中のソーシャルディスタンスを十分に確保できているとは決して言えない状況にあることです。また、透析前後での待合室の混雑についても緩和するための工夫を重ねて行ってまいりましたが、解消するには至っていません。

その他には、透析患者さんへの食事提供を院内感染防止のために昨年4月より中止しております。患者さんが在院する時間は9：00～15：00までですが、この時間内に食事が提供されないことは患者さんにとって大変辛いことです。感染終息後の食事提供をどのように行っていくかは今後の検討課題と考えています。

■今後追加される対応策

2023年8月頃に新築移転をする予定です。新しい施設では「感染に強い施設にする」ことを想定しており、コロナなどの感染症対策だけではなく、今後発生するかもしれない災害にも対応できる施設にしていく予定です。

（取材日2021年10月11日）

さやま地域ケアクリニック



さやま地域ケアクリニック/
院長

青山 壽久



さやま地域ケアクリニック/
事務長

渋谷 千穂

■コロナ対策の基本スタンス

当院に関わるすべての人命と事業継続を守る！

※すべての人命とは、患者とその家族、利用者とその家族、職員とその家族、出入りする介護職員など

■コロナ対策のこれまで (2020年2月～2021年9月)

「感染対策のための院内での体制づくりと対策」

事業を維持する上でも、3密回避は事業所内感染リスクを減らすことにも必要です。部門間、職員間の接触をできるだけ無くすことに重点を置きました。具体的には、部屋場所を移動、勤務形態を改編するなどです。通勤での感染リスクを減らすことも考慮しました。接触を無くすことでコミュニケーションをとることが難しくなりますが、ビデオ通話ができるように環境も合わせて整えました。

また、職員の意識統一のため、マニュアルを策定して2020年4月1日から運用をしました。



受付・会計のビニールシート

「職員の安全を守るために、行動指針を決めて周知・徹底」

職員には、院内感染を発生させないために、早期探知、早期対応。体調がすぐれない時は休むことなど、日常的な感染対策の質を高めることをお願いしました。

また、危険なのは“漠然とした恐怖や不安”です。過剰な対策、複雑な手段は原則からの逸脱を招きます。自己判断で“感染対策”を足し算しすぎないようにと伝えていました。危険を回避するために、決められたPPEを着用することも決めました。

「患者さんも感染から守るための徹底した対策」

自分だけではなく、患者さんに対しての感染対策も重要です。訪問診療・訪問看護・訪問リハビリでは、患者さんや利用者さんの他ご家族に、当院の感染対策のリーフレットを配布したり、下記の対策を取って協力と理解をお願いしました。結果、現在のところ陽性者を一人も出してはいません。(2021/11/10現在)

【訪問看護、往診の時の対策】

- ・患者と家族に体調不良者がいないか訪問当日に電話で確認している
- ・訪問の間は、患者・家族にマスクを着用してもらっている
- ・採血や気切交換・バルーン交換などのハイリスク処置を行う場合は、ガウン・帽子・フェイスシールドを着用している
- ・患者やその家族が発熱した場合は、発熱者と濃

厚接触者のPCR検査を訪問看護で行った

また、ワクチン接種についても対応していました。在宅患者とその家族、それらを支える介護職員に対して約500名（約1,000回）のワクチン接種を訪問にて実施して、感染拡大の防止に努めました。

透析については、さやま腎クリニックと連携しています。感染（疑い）の患者さんを隔離透析（個室3床）して対応しました。来院前には事前に体調チェックを行い、受け入れをしています。食事の提供は現在も中止しています。



透析部門に3床ある
隔離ベッド



透析個室側の入口
（感染者用入口）

また、入館制限も行っており、職員以外の入館は原則禁止しています（透析患者、会計等は除く）。

■現在の問題点

訪問診療・看護・リハビリについて、患者や利用者自身には陽性はいませんでした。家族で陽性者がいた事例はあり、その際は職員もPCR検査を行いました。職員の陽性者はいなかったものの、家族に陽性者がいた事例はあり、職員本人は検査では陰性だったものの、就業制限を行うことになりました。マスクができない患者さんや利用者さんがいる場合は、フェイスシールドをして対応しています。いつ職員が感染するか分からないので、チーム制にして対応できるようにしています。

■今後追加される対応策

現在の対応策を継続していく予定です。11月22日より有床入院が開始となります。青山院長は、このベッドは「自宅からの継続の場」として考えているので、感染対策と自宅の継続というバランスをどうやってとっていきかが課題です。

（取材日2021年10月18日）



オリーブ / 施設長
市川明美

■コロナ対策の基本スタンス

コロナの感染対策をとりつつも、オリーブの理念である「毎日の生活を大切に、一人ひとりが安心して自分らしく暮らせる家づくりをめざす」を念頭において対応します。

■コロナ対策のこれまで (2020年2月～2021年9月)

「感染拡大当初、まずは職員と利用者の安心・安全の確保に注力」

2020年2月からマスク等の衛生材料の在庫を確保しようとしていましたが、既に品薄状態が始まっていました。利用者を守るためにはまず職員の感染防止に努めなければなりません。そこで3月には生地を購入して、手作りマスクを作成し全職員へ配布しました。

職員に対しては、週1回のPCR検査や埼玉石心会病院・産業医の濱口先生や感染対策室の武内師長の指導も受けながら、病院に準じた「感染対策生活ガイドライン」を定期的に発行・掲示して、感染防止に対する意識付けをできるようにしました。

利用者に対しては、感染防止のための備品を設置し、安全の確保のために面会制限を行いました。また、ご家族が心配されないように、こまめな情報提供を心がけていました。

その他にも、施設サービスと在宅サービ



入口のスリッパ、手指消毒

スの利用者及び職員の混在を避け、ショート・デイでは毎日の座席表を記録し、万が一陽性者が出た時に濃厚接触者をいち早く確定が出来るようにしていました。様々な感染対策を取りつつ、利用者の日々の生活が無機質な味気ないものにしないために出来ることを模索しながらの日々となりました。

「石心会グループの支えで、クラスターの早期収束へ」

2021年4月13日に職員1名の陽性が確認されて、その後クラスターとなってしまいました。この時、埼玉石心会病院・感染対策室 武内師長や産業医の濱口先生に入院の相談をさせていただきました。また、PCR検査は、デイ・ショートステイ利用者をさやま総合CLで対応してもらい、特養利用者を地域ケアクリニックの訪問で対応してもらいました。グループの迅速な協力体制に救われ、5月3日には収束宣言を出すことができました。施設のクラスターは病院とは異なり、隔離をすることが難しく長引くことが多いのですが、比較的短期間で収束することが出来たのは、グループの方々のご協力のおかげだと思います。

「コロナが生んだ職員の連帯感と支えになったご家族からの声」

クラスターが発生して、予期せぬ良いこともありました。1つは、職員の連携部分。クラスター時期は感染防止のためにフロア間の行き来を止めて、特定フロアに固定勤務としました。勤務メンバーが固定されたことで、通常であれば行わない

他職種の業務も一緒に行い、連帯感が生まれました。また、職員の感染への意識はとても高くなったように感じます。

ご家族からの厳しい声を覚悟していましたが、連絡窓口の相談員が定期的に連絡を取っていたこともあり、温かいコメントがとても多かったです。

大変な時期を乗り越えた職員でしたが、幸いなことに退職希望はありませんでした。



面会許可証

■現在の問題点

クラスターの時には、10日間ほど泊まり込んで対応していました。利用者さんだけではなく、職員も辛い状況でした。職員には「みんなで力を合わせて収束させよう」と声がけをしたり、家庭での感染リスクのストレスを減らすために、家に帰らないで準備したホテルから出勤してもらったりしました。

コロナ対応が長期化することでの職員が抱えるストレスは大きな懸念です。また、感染対策の慣

れによる意識低下を招かないようにすることが課題です。

特養の利用者については、思うように外出が来ず、家族にも会えないことにより不穏状態に陥ることもあります。また、在宅サービスの利用を控え、外出をしなくなることでの利用者の心身機能の低下、家族の介護負担増加による高齢者虐待に発展する場合も考えられます。

■今後追加される対応策

これまで通りの施策を継続していきます。

<職員、館内勤務者全員>

- ・出勤時体温チェック
- ・退勤時もチェック
- ・入館の際には手指消毒
- ・外中のマスクを変える

<外来者>

- ・体温と、体調確認
- ・手洗い手指消毒
- ・マスクを変えてもらう

(取材日 2021/10/19)

石心会地域ケアセンター

入間川・入間川東地域包括支援センター



入間川・入間川東地域包括
支援センター／係長
熊川史織

いきいき訪問看護ステーション鵜ノ木



いきいき訪問看護ステーション
鵜ノ木／所長
富野国子

石心会介護支援センター



石心会介護支援センター／
所長
守谷香織

石心会ヘルパーステーション



石心会ヘルパーステーション／
所長
井波八重美

入間川・入間川東地域包括支援センター

■コロナ対策の基本スタンス

職員の健康管理、利用者への感染防止対策、来所者への感染防止対策

■コロナ対策のこれまで (2020年2月～2021年9月)

- ・利用者訪問時の感染対策の徹底（手指消毒、体調確認、感染が疑われる場合の対応確認）
- ・地域ケアセンター 1 階の消毒、来所者の体調チェックと確認
- ・住民主体のサロン活動の際の感染対策の啓発

■現在の問題点

- ・大人数で集まった会議が行えないため、定期的に行っていた圏域会議の開催方法が限定的なものになってしまっている。
- ・長引くコロナ禍で、高齢者の身体的、精神的な衰えが目立っており支援が複雑化している。

■今後追加される対応策

現状の感染対策の継続

いきいき訪問看護ステーション鵜ノ木

■コロナ対策の基本スタンス

「コロナウイルスを正しく知り、正しく理解し、正しく恐れ、そして行動する。」

■コロナ対策のこれまで (2020年2月～2021年9月)

- ・PPE着脱方法や在宅における感染予防策の勉強

会を実施し周知徹底を図った。

- ・コロナ感染による自宅療養者への訪問は1日1名担当看護師を決め、訪問車はコロナ専用車とし感染予防に努めた。
- ・スタッフミーティングで意見交換を行い精神的不安の軽減を図った。

■現在の問題点

第5波では保健所や病院も逼迫していた状況で自宅療養者の情報や対応が錯綜し置き去りになっていたように思う。第6波に向けて、市や保健所、地域の訪問看護ステーション間で協働し自宅療養

者が安心できるシステムが明確になっていない。

■今後追加される対応策

平時よりPPE着脱方法など勉強会を定期的に行い感染予防対策の徹底を図る

石心会介護支援センター

■コロナ対策の基本スタンス

三密を避け、手洗い、消毒の徹底。

■コロナ対策のこれまで (2020年2月～2021年9月)

上記の基本方針とあわせ、利用者宅の訪問前後の手指消毒、長時間の訪問は避ける、自宅訪問が基本ではあるが、電話訪問を希望の場合は電話で対応。

■現在の問題点

コロナによる外出控えによって筋力の低下、家族の負担の増大が以前より多くなっている。サービス利用に対する不安も大きいため、必要なサービスを受けることが出来るように丁寧に関わっている。

■今後追加される対応策

追加はないが、現状の対応を継続して行く。

石心会ヘルパーステーション

■コロナ対策の基本スタンス

1. 訪問介護サービスの継続。利用者の生活を支えるため適切な感染対策をします。
2. 利用者の安全確保。重症化リスクが高いことに留意して感染対策をします。
3. ヘルパーの安全確保。感染対策への意識を向上させ、チームで感染対策をします。

■コロナ対策のこれまで (2020年2月～2021年9月)

1. 情報収集と共有。
関係機関から情報収集をし、自部署の現状や課題についてヘルパー全員で検討し共有して来ました。
2. 介護サービス提供の場で行う感染対策。
利用者・家族へのヘルパーの感染対策の説明と協力の依頼をしました。利用者の生活の

場にウイルスを持ち込まないための防護具や換気を工夫して対応しました。

3. 事業所内の環境整備。

消毒液・飛沫防止パネル・空気清浄機の設置や換気等の基本的な感染対策を実施しました。同一建物内の4部署で相談し協力できたことが何より心強く、より良い感染対策につながったと思います。

■現在の問題点

ヘルパーの人員の確保ができていないことです。ヘルパーの出勤状況に応じて対応できるような、業務の優先順位の整理に苦慮しています。

■今後追加される対応策

今後も高い意識を持って、チームで感染対策を継続していきます。

(寄稿日 2021年10月19日)

さいわい鶴見病院



さいわい鶴見病院/
院長

原 淳



さいわい鶴見病院/
事務部長

岡本正太

■コロナ対策の基本スタンス

- ・入院： 入院前検査・行動履歴の厳密なチェックを行いコロナを院内に入れない。発生しても拡げない。
- ・外来： 発熱者を院内に入れない。コロナが疑われる場合職員の接触は最小限にして対応する。

■コロナ対策のこれまで (2020年2月～2021年9月)

「2回の院内クラスター後、感染管理の職員が加わって意識が大きく変化」

2020年4月と11月の2回の院内クラスターが発生し地域医療機関には大きな支援をいただいた。その中で2回目のクラスターで埼玉石心会病院から感染管理看護師を派遣していただき、感染管理・対策と実効性に対する意識が大きく変化した。もちろんそれまでも、自分たちなりに感染対策はしていたが、その対策の実効性が未知であった。感染管理の専門家とともにICTの再構築を行った成果として、院内外での職員の感染管理・対策の意識は大きく変化した。

クラスター収束後、通常と非常時の病棟運営を行う手順をとって現在至る。現在常勤感染管理認定看護師は不在であるが、引き続き前看護師にオンラインでの会議に参加してもらいICTとしての方針決定や実効性の評価を行っている。

また、当地域のニーズに応じ責務を果たすためコロナ下り搬送の積極的受け入れを行い連携を図り、地域の医療機関からも評価をいただいている。

「入院前のルールを厳しく設定。入院後の発熱者への対応をルール化。」

感染管理の視点で『コロナを院内に入れない』ことを前提に、入院前と入院後のルールを見直しました。特に入院前に患者さんに対してのルールを厳しく設定し直しました。

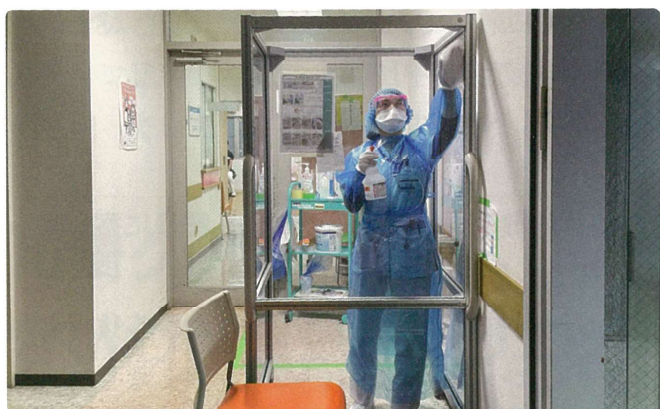
予定入院が確定すると、事前に入院にあたっての注意事項の説明を患者さんに行います。「2週間前からの行動記録をつけること」、「当院のドクターアシスタントから、禁止している行動を行っているか1週間前に確認連絡があること」、「もしそこで疑わしい行動があれば、手術を延期すること」、「入院の直前に行動記録の確認とPCR検査を行い、結果によっては手術が出来ないこと」などです。実際にこのルールを開始してから、患者さんの手術が延期・中止となり、手術の件数が5、6件/月減ることにはなっていますが、最優先事項として実施しています。

入院後の病棟ルールについても見直しました。当院は術後の患者さんが多いので発熱している方は珍しくないのですが、院内の有熱者や感冒様の症状がある方については、手術の有無にかかわらず毎日の朝会、夕会で一日2回状況報告して追加検査を検討しています。各部署の協力を得て院内でPCR検査ができるようになったことは大きな前進でした。また、日曜、祝日なども感染管理をするにあたりタイムリーな情報共有は必要だったので、Teamsの導入はとても助かりました。

「外来では、職員と患者さんが最小限の接触で対応できるような運用を継続」

外来は、発熱者を院内に入れないこと、職員と患者さんの接触が最小限で済むようにすることを運用のポイントとしています。診察については非接触のオンライン診察を導入する他、発熱外来では屋外のブースでPCR検査を行い、その後は帰宅してもらい結果は電話連絡するという運用にして接触を最小限にしています。

PCR検査で陽性結果が出てしまった患者さんについては、リハビリ科のスタッフが中心となって自宅に薬やパルスオキシメーターを届け、翌日も医師から電話連絡をするようにしています。保健所が陽性患者さんと連絡がつくまでの期間は当院が患者さんの病状を管理しています。



発熱外来のPCR検査場所

「地域のワクチン接種ニーズに応える」

ワクチン接種にも対応していて、横浜市で行っている接種会場へ医師と看護師を派遣していました。また、近隣の障害者施設の利用者、職員を優先的に接種したり、ホームページを見て予約を取る方が多いことから、ホームページ上でオンライン予約ができるようにするなど出来ることから取

り組んでいます。

■現在の問題点

隔離環境や換気などの建物の構造上感染対策が十分に行えないため、運用の工夫して対策を講じています。緊急入院の即時対応困難な状況や、予定入院患者の手術日程を変更せざるを得ない状況があり、できる限り早急な対応を行っていますが実際に12月まで予定手術（2か月以上の待機）が入っている状況です。

(2021年10月8日現在)

■今後追加される対応策

約4年後、現在の病院の場所に拡大新築を予定しています。新病院では個室が増設され、ゾーニングも出来るようになり、感染や災害に強い病院を目指します。

2020年11月のクラスター以降、現在まで入院患者さんや職員に陽性者はでていません。職員が一人丸となって高い意識で感染管理に向き合い、運用をしている努力の賜物だと思います。ICTで構築した現在の感染対策を継続し、患者さんや職員とその家族、院内出入りする方々全ての安全に努めていきたいと思っています。

(取材日 2021年10月26日)



ホームページでのワクチン接種申し込み

第二川崎幸クリニック



第二川崎幸クリニック/
院長

関川浩司



第二川崎幸クリニック/
事務長

佐々木純也

■コロナ対策の基本スタンス

患者さん、職員の感染防止を第一に考え、必要とされる医療を萎縮することなく継続する。

■コロナ対策のこれまで (2020年2月～2021年9月)

「感染が拡大し始めてからすぐに、患者さん・職員の感染対策に取り掛かる」

第二川崎幸クリニックでは、感染が拡大し始めた2020年2月に、LINEで三役会議やドクター&チームリーダーミーティングのアカウントを作って情報共有を始めました。まずは職員の出入口での手指消毒や行動規範の作成をはじめ、その後は来院患者にも出入口で検温、手指消毒、トリアージを開始。セカンドトリアージも設置して感染疑い患者にも対応を始めました。診察室と化学療法室には、ビニールカーテンを早期に設置。患者さんに安心感を与えられたと思います。



コロナ対策諮問委員会の様子

「WEBや院内で患者さんへコロナ情報の提供を行い、安全・安心をアピール」

患者さんへのコロナに関する情報提供は積極的

に行っています。WEBでは、当院の感染対策をまとめた動画を早期に作成して掲載しました。その他にも、院長のアイデアで院内に掲示板を使って「コロナ瓦版」を設置。患者さんに必要な最新のコロナ情報が院内でも見られるように工夫しました。また、館内放送では、当院のコロナ対策の説明や守ってほしいお願いごとなどを流しています。状況に応じて内容を変更し、現在は3か国語（日本語、英語、中国語）で放送を流して、外国人患者さんへの対応も行っています。

「コロナ危機を乗り越えるために、職員に寄り添った対策も」

コロナが拡大してから、職員にかかる負担が相当大きくなってきました。この危機を乗り越え長期戦に備えるためには、患者さんだけではなく職員にも寄り添った対策が必要です。そこで2020年5月には、スタッフメンタルケアを開始しました。また、スタッフ休憩室の拡大のために、会議室を開放。また、公園側テラスのベランダも開放して気分転換ができるようにしました。

また、職員が感染や濃厚接触者になってしまった場合のバックアップ体制も整えました。サチュレーションや簡易的な非常食を準備し、自宅待機となった職員に提供しました。



休憩のためのベランダ開放

「通常診療を続けていくために」

通常の診療を続けていくためには、コロナ前とは異なる診療方法や業務のやり方が必要だと思います。

患者さんには、再診の電話対応、ビデオ通話を使っての遠隔診療、LINEからのオンラインでの相談など、診療のオンライン化の仕組みが徐々にできあがってきていて、感染防止に一役買っています。

職員に対しては、コロナ前まで対面で行っていた会議を、teamsなどを活用したオンライン会議でも行えるようにして、感染リスクを軽減できるようになっています。また、コロナ対策諮問委員会をつくって、院内ルールや職員の行動規範などを議論し、状況にあった感染防止策を継続しています。コロナ対策は電子カルテにトピックス毎に見やすく掲載するようにして職員への周知を図っています。

■現在の問題点・今後追加される対応策

職員へのメンタルケアの部分が少し不足していると思うので、この面でのサポートをしていきたいと考えています。その一環で、レクレーション委員会を再開し、感染防止対策に配慮したイベントを考えることにしました。職員の気持ちを少しでも楽に出来たらと思います。

また、これまでの診療のオンライン化から一歩踏み込んで、オンライン診療を開始する予定です。通常診療での利用はもちろんの事、特に第5波で問題となったコロナ感染陽性者で自宅療養をしている方に対するリモート診療や、検診施設からの二次検診者に対するリモート診療による検査予約受付などを考えています。

(取材日 2021年10月26日)

川崎クリニック & さいわい鹿島田クリニック



川崎クリニック/
院長

穴戸寛治



さいわい鹿島田クリニック/
院長

朝倉裕士



川崎クリニック・さいわい
鹿島田クリニック 看護部長

由井淑子

■コロナ対策の基本スタンス

- ・患者さん、職員が感染源を施設に持ち込まない。
- ・クラスターになる環境を作らない。
- ・地域の医療機関と連携して感染防止に努める。

■コロナ対策のこれまで (2020年2月～2021年9月)

「両施設合同感染対策委員会を開催。院内外の透析関係部門とタイムリーな情報共有を行う」

2020年2月の第一波の時から、川崎クリニック(以下川崎CL)とさいわい鹿島田CL(以下鹿島田CL)の両施設で、毎週合同で感染対策委員会をテ

レビ会議で行っていました。患者、職員の感染対策をどう対応していくかを話し合い、その内容を透析施設の対策ということでマニュアルにしていきました。感染対策委員会のメンバーは、全部署の代表者です。医師・看護師・臨床工学技士・リハビリ・看護助手・事務のみんなが意見を出し合い、情報共有をしていました。その他の情報共有としては、感染疑い・コロナが発生した場合は、電カルメール＜COVID連携グループ＞を使って川崎幸病院の腎臓内科や透析室にも両施設の情報共有を行っていました。

「症状がある患者さんには、＜コロナ分類＞を作って分かりやすく対応の統一化を図る。」

両施設ともテナントビルなので、他企業とエレベーターなどで一緒になってしまいます。その為、1階（鹿島田CLは各階）で検温・手指消毒を行い、接触を避けながら職員が1階から透析室までご案内をするようにしました。基本対策以外の対策としては、透析食の提供を中止しています。2021年8月には、リネンを廃止してレザーマットレスカバーに変更しました。ベッドは複数の患者が使用するため、患者使用毎に次亜ガーゼで拭き取ることで、リネンを介しての感染を防ぐ、衛生管理が目的です。



レザーマットレスカバー
(リネン廃止のお知らせ)

その他には、フロアの一角及びベッドにビニールカーテンを設置して隔離透析としました。発熱・風邪症状がある場合や他県に行った患者さんをここで隔離しながら透析を行っています。

この隔離透析については、対応方法を明確にした＜コロナ分類＞を作成して対応するようにしています。クリニックでは、病院ほど医療資源が潤沢ではないため、どのレベルにどの医療資源を使う

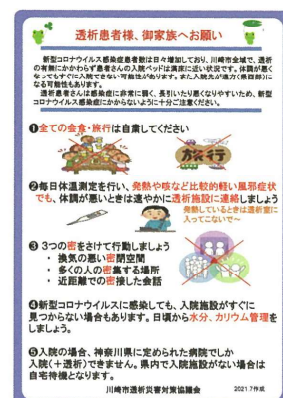
かを細かく決めています。

「患者さんにも協力を仰ぎながら治療を継続する環境を作り」

透析治療は、職員の努力だけでは成立しません。患者さんにも協力をお願いしました。送迎バスについては、日本透析医学会では中止を推奨されていましたが、両クリニックの患者さんは、送迎バスが無いと通院が厳しい方が多いため、乗車人数を減らして増便した

り、乗車時に検温・手指消毒をしたりと、患者さんやご家族、介護事業所にも協力いただいて運行を継続させました。

その他には、密にならないように開院時間を朝の8:00から20分遅らせて、8:20とすることで透析室入室までのロビー滞在時間の減少や、体調不良を前日までに連絡してもらい、患者さんへのお知らせは頻繁に行い協力と理解をお願いしていました。



透析患者・家族に向けたお願い・川崎市透析災害対策協議会のチラシ（川崎CL作成）

「患者さんや職員だけではなく家族や介助スタッフへの集団ワクチン接種に対応」

透析患者さんは、新型コロナウイルスに感染すると重症化するため、2021年7月～9月にかけて、患者さんや職員だけではなく、職員・委託業者及び患者家族やヘルパー等にも拡大して積極的なワクチン接種を行いました。川崎CLでは診療を行っていない日曜を利用して約390名を接種、鹿島田



隔離透析ベッド



CLでは平日にいくつかの接種時間を作り対応して約380名に接種を行いました。

「コロナで活きた、地域の透析災害対策ネットワークと通常業務の意識の高まり」

川崎では陽性患者の透析ベッドが少ない現実があります。そこで、宍戸院長が会長を務める「川崎市透析災害対策協議会（市内全37施設が参加）」に、＜コロナも災害である＞との認識のもと働きかけ、院内と川崎市で会議を行い、陽性患者が入院する場合のリエゾンとなる窓口を設置しました。川崎市の南部・北部の両地区の会議に宍戸院長が出席し、日本透析医学会、県、市からなどのコロナ対策の情報などを常にアップデートしています。

透析施設では、手袋・ビニールエプロン・ゴーグル・マスクは通常装備ですが、今回のコロナ対策で、通常の装備をもう一度徹底しようということになりました。特に、鹿島田CLで透析中に急変対応し、搬送先でコロナ疑いとなった患者さんが発生したときには、透析室内常時予防への意識が一段と高まりました。

「コロナ対応で生まれたコミュニケーションで、院内外で関係が良好に」

コロナ対応では、院内スタッフ同士はもちろんですが、院外の透析施設・連携医療機関・保健所をはじめとした、県や市の関係各所と、日々コミュニケーションをとることになりました。院外の保健所や医療機関との関係が良好になりましたし、院内の職員同士も、常に知見などの情報共有を行ったことで、職種間の連携がとても良好になっ

たと思います。みんなで話し合っただけで感染対策を作ることができたということは、自信にもなりました。職種や業務の壁が無くなって、みんなで話すことは通常の業務にも活かされると思います。

■現在の問題点

「第六波に向けて」

現在は「神奈川県透析危機対策協議会」の会長として宍戸院長が透析施設の治療方針を発信しています。第五波までで対応策は定まってきましたが、第六波を想定し、情報発信・共有の活動は継続されています。透析は陽性者がでても治療を止めることができないので、治療を継続させるためにどうするかを常に考えて、対策を実施していかなくてはなりません。自分たちが感染対策をしっかりすることで、患者さんを不安にさせないことが大切だと思っています。

また、スタッフも初めての感染対策で、規制が厳しく疲弊が見受けられ、心のケアが必要となっています。スタッフに対してもきちんと対策を取っていく必要があると思っています。

■今後追加される対応策

コロナに関しては3回目のワクチン接種が予定されていますので、その対応を考えなくてはなりません。また、前述の市や県の透析災害対策は、もともとは首都直下地震のためにやっていた対策です。コロナ禍での災害対策を継続して行っていく必要があります。

（取材日 2021年11月4日）

新緑脳神経外科



新緑脳神経外科/
施設長

太田誠志



新緑脳神経外科/
事務長

佐藤貴紀

■コロナ対策の基本スタンス

患者さんと職員の安全を保ち、診療を継続すること。

■コロナ対策のこれまで (2020年2月～2021年9月)

「院内にコロナを持ち込ませないためにできる ところから対策」

2020年3月から、まずは入口でのトリアージを始めました。2階の出入口を閉鎖して来院者の動線を一本化し職員による検温や体調チェックなど状況確認をするようにしました。コロナ疑いの患者さんは、閉鎖して隔離スペースとした2階出入口の風除室に案内し、一般の患者さんと接触しない仕組みとしました。

その後、待合室の椅子は座る席の距離をとったり、受付にアクリル板を設置したり、検査室が密室にならないように、扉の下の部分から換気が可能なカーテンにするなどしました。

その後、空気清浄機などの設置数を増やして院内環境を徐々に整えていきました。

「院外にプレハブの設置。 院内の運営がより安全に」

2020年10月には、院外にコロナ疑い患者さん隔離のためのプレハブを設置しました。ここで行政のPCR検査や抗原検査を開始しました。この時期にプレハブを建てたことで、院内でより安全に通常の診療を継続することが出来たと思います。

自家用車で来院された患者さんについては、駐



コロナ対応のプレハブ

車場に車を停めて、車内で検査を行うことでより安全な運用を行うことができました。

「より安全な院内環境を整えるために」

検体検査室は換気機能がなく、エアロゾルが懸念されていたので、感染予防として工事で換気口を作りま



自動検温機

した。また、入口で検温対応をしていた職員の負担軽減として、作業を無人化できるように、自動検温機を導入しました。検温時に顔写真・検温結果をプリントできる機能が備わっており、記録用紙を持っていない＝検温していない人が院内で分かるような仕組みにしました。

「医師会からの要請で、療養期間を過ぎた体調不良の患者さんを受入」

医師会からは、療養期間終了後も自覚症状がある人の受入をして欲しいと再三要請がありました。当院では療養期間後の患者さんに対しては、念のため動線を分けた上で内科を受診してもらいました。オンライン診療にも一部対応していたこともあり、医師を含め職員の負担は大きかったと思います。

■現在の問題点

幸いなことにクラスターなどは起きておらず、安全を保ち、診療を続けることができています。ただ、コロナは収束ではなく、第六波が来ると言

われている中、インフルエンザが流行るのではとも言われています。どちらも警戒が必要ですし、懸念していることです。

また、長期間きついルールの中対応していることもあり、職員が心身共に疲れてきていることが心配です。

■今後追加される対応策

特に新しい何かの導入予定はありませんが、現状を維持して、この冬の感染状況を見ながら対策を取っていきたいと思っています。

(取材日 2021年10月12日)

アルファメディック・クリニック



アルファメディック・クリニック /
院長

林建男



アルファメディック・クリニック /
事務長

滝川樹弘

■コロナ対策の基本スタンス

健康診断の実施にあたり、「三密」を可能な限り回避することに努めました。また、検査機器等の定期的な消毒、マスクなどによる防護や職員の健康管理の徹底により、受診者に安心していただけるように感染予防対策を行ってきました。

■コロナ対策のこれまで (2020年2月～2021年9月)

「まずは健診職員の健康管理の徹底を」

川崎幸病院のコロナブックや日本人間ドック学会に準じて、職員には、毎朝の検温・健康チェック、定期的な手洗いの実施、手指消毒剤（アルコール）による都度消毒、不織布マスクなどの着用、コロナワクチン接種といった出来る限りの感染対策で健康管理を徹底しました。また、人間ドック受診後の栄養相談を自粛するなどして接触頻度を減らしています。幸いなことに、現在まで職員の陽性者は発生していません。

「施設内でも、最大限の感染対策を実施」

①検査誘導支援システムをフル活用、
同じ場所に長時間の待機がないように案内を行い、健診時間の短縮も図っています。

②換気の徹底

換気扇による強制換気、空気清浄機などによる空気の循環。

③飛沫拡散の防止

受付窓口などにビニールカーテンやアクリルパーテーションを設置、肺機能検査室にビニールカーテンを設置。

④徹底した除菌

1 検査ごとに検査機器を清拭で消毒、更衣室のロッカーや鍵を受診者ごとに除菌、フロアの椅子などの消毒。



更衣室の清拭・消毒



ダイニングの感染対策

⑤内視鏡検査では職員が防護服を着用

最も感染が心配される内視鏡検査では、職員がゴーグル、サージカルマスク、ガウン、グロー



内視鏡での感染対策

ズなどの防護服を着用し、受診者はマスクを着用のまま検査を実施して、飛沫拡散防止に努めています。防護具の消毒や交換、検査機器の消毒を行っています。

⑥雑誌・新聞などの設置を停止

「受診者にも感染予防への協力を依頼」

受診者全員に、非接触型体温計による検温や健康状態をチェックしてもらうなど、感染予防に協力をお願いしています。その他にも基本的な感染防止である手指消毒や受診時のマスク着用の徹底、密を避けるために健診予約時間の厳守をお願いしています。受診後の食事提供は継続していますが、ソーシャルディスタンスの確保と黙食をお願いしています。

委託元の中には、肺機能検査での感染を懸念される企業もあります。その際は協議のうえ、実施

の可否を決定することになっています。実施の場合は、受診者に注意喚起を行い、ノーズクリップを自分で装着してもらうなど協力してもらいながら検査を行っています。

また、健診終了後から2週間以内に新型コロナウイルス陽性と確認された場合は、当クリニックへの連絡をお願いしています。

■現在の問題点

新型コロナワクチン接種から健診予約日まで間隔が空いていなかった時期は、急遽の日程変更やキャンセルとなった事例が散見されました。現在、新たな希望日での予約確保が難しい状況です。より多くの方に受診していただくため、日程変更やキャンセルは、早めにご連絡いただくように協力をお願いしています。

■今後追加される対応策

ウイルス感染対策のリテラシー向上のための情報発信がホームページ等を通じて行うことができればと考えています。また、中止・自粛しているサービスの再開に向けて対応策を検討していきます。

(取材日 2021年10月19日)

川崎健診クリニック



川崎健診クリニック/
院長
塚田一義



川崎健診クリニック/
事務長
渡邊祐介

■コロナ対策の基本スタンス

利用者が安心して利用できるように施設環境を整えるようにしています。

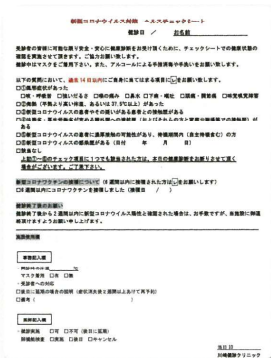
■コロナ対策のこれまで (2020年2月～2021年9月)

「施設健診では、入館時の健康チェックと検査時の感染対策を徹底」

入口では手指消毒、健康チェックの案内文の掲示、受付での検温の他、マスクの着用、オリジナルの「ヘルスチェックシート」による問診を行っています。問診で引っかかった人は、医

師が受診の可否を判断しています。更衣室のロッカーの配分にも配慮しており、なるべく隣り合わせにならないようにするほか、ロッカーが空いたらきちんと清掃をしてから次の方にご利用いただけるようにしています。

診察時・検査時には、職員は不織布マスクやフェイスシールド、



受付時の健康チェックシート



入口付近での対策



館内の待合スペース

ディスプレイ手袋などを着用して感染予防対策を行っています。検査機器は利用ごとに消毒、待合の椅子は隣との距離を保つために1つおきに利用してもらい、こちらも定期的に消毒しています。ビルの構造上、換気口が少ないため空気清浄機を導入して換気への配慮も行っています。

当クリニックのコロナ対策を事前に伝えることも、利用者が安心できるかどうかのポイントにもなるので、ホームページで当院のコロナ対策情報を掲載したり、事前に発送する受診の案内文に不織布マスク着用をお願いを記載するなどを行っています。

現在のところ、「受診時にコロナ症状がなく、後日陽性となった人が受診していた」という報告もありません。

「巡回健診では、クライアントの先方企業と相談して感染対策を実施」

巡回健診では、クライアントと事前に打ち合わせをして、感染対策ができる会場設営を行って

ます。密にならないように、待機用の椅子の間隔を開けて設置して、定期的に消毒を行い、各ブースにビニールシールドを設置して、職員と利用者の直接の接触を避けること、必要以上に利用者を会場に入れず、時間をずらして会場にきてもらうなどが運用のポイントになっています。



巡回健診の会場設置の様子

■現在の問題点

来院人数がコロナ前と変わらない中、感染対策のために待機椅子を1脚空きにして利用すると、椅子が足りなくなり、検査を立てて待つ人が出てきてしまっています。エレベーターホールにも椅子を置いて対応をしていましたが、それでも足りずに滞留する人が出てきていて、受診者サービスの面では対応に苦慮しています。

■今後追加される対応策

定期健康診断は事業所に対して労働安全衛生法で年1回の受診が義務付けられています。当クリニックでの受診時間内にコロナに感染させないように対策を継続する他、待ち時間を減らし、感染リスクを抑えられるように、立って待たせる時間を減らせるように、運用面をさらに検討したいと思います。

また、アルファメディック・クリニックと情報共有し、高いサービスの標準化・均一化はこれまで通り図っていきたいと思います。

(取材日 2021年10月7日)

在宅事業部

川崎地区在宅部門のコロナ対策について



地域ケア
コーディネーター

深井純子

川崎地区の在宅部門では、利用者様宅への訪問を中心にサービスを提供しております。

これまで職員が一丸となって、自らが感染源にならないように徹底した感染予防対策を講じてきました。第1回の緊急事態宣言では、アルコール消毒薬やマスクが手に入りにくい状況でしたが、地域の食品卸業者の方のご厚意で購入でき、またマスクもレンタルさいわいがお世話になっている取引業者から分けて頂き急場をしのげました。皆さまに支えられていることを実感したエピソードです。

在宅部門は、『自らが感染源にならないこと、いかなる形であれ事業を継続できることで、利用者様に不利益を被ることがないようにすること』を最優先課題として業務遂行してきました。

特に訪問看護は、医療依存度が高い方を多くケアしているため、訪問ができないという選択肢は無く、また訪問時に感染予防を徹底しなければ利用者様の命の危険に直結する業務を担っています。そのためスタッフはかなり神経を使いながらそれでも丁寧なサービス提供を心掛けてきました。

また地域包括支援センターは、利用者様にとって医療・介護などの社会資源とのファーストタッチの場合も少なくなく、スタッフが感染してしま

うリスクも抱えています。しかしまずは信頼関係を作ることが何より重要になってくるため、防護服を着ていくことも、利用者様にマスク着用をお願いするのも難しいケースもあります。ケアマネジャーのモニタリング訪問は電話や他の手段に替えられることもありますが、介護しておられるご家族が濃厚接触者、感染されたケースでは急ぎのサービス調整が求められます。

福祉用具においては、用具の消毒の徹底はもとより運搬時の消毒にも非常に気を遣う必要があります。こういった事業所ごとの困難性はあっても、利用者様のために自分達のできる最善の策を考え実行してきました。現在全事業所は毎月進捗状況を情報共有しながら感染に対するBCP作成をしています。7月には一部の職員を除きワクチン接種も2回終了し、感染の不安がある時にはさいわい鹿島田クリニックの協力を得てPCR検査を受けられるようにして頂きました。医療法人の事業所であることに非常に安心をしております。

有難いことにこれまで職員からは一人も感染者は出ておらず今後も引き続き事業継続できるように職員全員で努力して参ります。

(寄稿日 2021年10月13日)

かしまだ地域包括支援センター



さいわい訪問看護ステーション



新川崎居宅介護支援事業所



福祉用具レンタルさいわい



かしまだ地域包括支援センター

かしまだ地域包括支援センター／所長 柳原智江

■コロナ対策の基本スタンス

- ・ 緊急事態宣言下、川崎市より対応方針[※]が示されているため、基本的にはその内容に沿って業務遂行した。

※『緊急事態宣言の発出を踏まえた対応方針（令和3年8月2日）』

■コロナ対策のこれまで (2020年2月～2021年9月)

- ・ 所内消毒、環境整備
 - －1日2回の消毒、窓やサーキュレータ活用した換気、来所者の体温測定
 - －面接室・各職員デスク間のアクリル板設置
 - －職員は常にマスク、昼食時は黙食
- ・ 訪問時
 - －訪問ごとにマスク交換、手指消毒
 - －可能な限り手洗いをさせていただき、クライ

- アントにもマスク着用と換気を依頼
 - －できる限り訪問時間も短時間としている
- ・ 地域に対して
 - －老人会や健康体操の場で、手洗い指導
 - －感染予防のため主催事業中止した際は、かしまだ包括虹便りを臨時発行した（介護予防に関する内容として、自宅のできる体操をマスクと共にポスティング）
 - －介護予防ストレッチに参加していた高齢者に対し自粛期間中の電話モニタリング
 - －かしまだ包括虹便りにて、特別給付金詐欺被害防止内容を掲載
 - －地域で活躍していたボランティアのモチベーション維持のため交流会開催
 - －ネットワーク・これ幸全大会にてコロナ禍の包括業務について発表
 - －主催事業の為、各種会議のためZOOMアカウ

ントを購入していただき活用

■現在の問題点

包括支援センターが主催の場合、ZOOMでは個別事例を取り扱えないため、対面以外での事例

検討が行えない。接触機会減少の為自宅待機を積極的に取り入れたいが、個人情報を取り扱うことができないため、自宅でできる業務に限りがある。

(寄稿日 2021年10月15日)

新川崎居宅介護支援事業所

新川崎居宅介護支援事業所／所長 齊藤淳子

■コロナ対策の基本スタンス

基本方針

- ・自らが感染源にならない事・・・平時からの予防・感染対策の強化
- ・事業の継続で利用者の生活の維持・・・業務継続に向けた取り組みの強化

■コロナ対策のこれまで (2020年2月～2021年9月)

- ・職員の体調管理・・・毎朝の体温測定・行動記録、訪問直前の検温
- ・訪問時の感染予防の徹底・・・マスク、フェイスシールド持参・除菌アルコール持参
利用者マスク着用要請、換気依頼、滞在時間縮小依頼（紙面配布）、ソーシャルディスタンスの確保
- ・訪問の自粛・・・メールや電話でモニタリング
- ・担当者会議の簡素化・・・FAX・電話で照会
- ・脱ウイルスの職場環境・・・1日2回の事務所の除菌・来訪者後の除菌・使用物品の除菌
- ・終日窓解放による換気・デスクにアクリル板を

設置で飛沫拡散予防・リモート会議への取り組み

- ・時差出勤の呼びかけと実行
- ・利用者の同居人が感染者になり対応・・・サービス事業所、市の衛生課との連携と共有マニュアル作成
- ・感染発生時のシミュレーションと対応を職員間で共有（防護具の用意、着脱の確認、滞在時間、換気）

■現在の問題点

自宅で仕事をする環境が整っていない・・・事業所携帯電話1台・アイパット1台に対して職員6名

■今後追加される対応策

コロナ対策を多角的に捉えマニュアルを作成し基準化する。

(寄稿日 2021年10月13日)

さいわい訪問看護ステーション

さいわい訪問看護ステーション／所長 小島ゆかり

■コロナ対策の基本スタンス

「ウイルスを持ち込まない、持ち出さない、拡げない」を基本に継続的な事業を実施する。

■コロナ対策のこれまで (2020年2月～2021年9月)

- ・2020年、4月より緊急事態宣言解除まで勤務体制を2チーム制とし、出勤するスタッフと自宅待機するスタッフに分けた。
- ・2021年、8月末より出勤時間を9時30分とし、昼食は自宅で摂れるスタッフは自宅で摂るようにし、訪問看護記録も自宅で作成するようにして事業所内の密を避け、事業所内でのスタッフの接触は15分以内とした。
- ・2020年2月よりエプロン、マスク、ゴーグル使用し完全防備で訪問看護にあたった。
1月、ガウン、キャップ、フェイスシールドの使用も開始した。
- ・スマホを使用し自宅でのズームミーティングを実施した。
- ・iPadを使用し、利用者の情報共有を行っている。
- ・事務所内への外来者の来訪を極力避けた。

- ・スタッフは休日も含め毎日検温、体調の報告をしている。



業務の様子

- ・スタッフが濃厚接触が疑わしい時は医療機関にてPCR検査を実施している。

■現在の問題点

- ・事業所内での環境を整え、15分以内の滞在としているが電車通勤スタッフは事務所に入る時間が限られ、滞在が15分を超えてしまう。
- ・スタッフ全員が抗体検査を受けたいが、価格が高値なため現状実施できていない
- ・感染対策の備品の購入が高値なため、収支に影響が出る

■今後追加される対応策

- ・事業所内でスタッフの接触が密にならないためソーシャルディスタンスが保てる居場所の確保
- ・ウイルスを吸着する空気清浄機の導入

(寄稿日 2021年10月13日)

福祉用具レンタルさいわい

福祉用具レンタルさいわい／所長 吉田唯之

■コロナ対策の基本スタンス

「新しい生活様式を踏まえた新型コロナ対策を行い、感染予防をおこなう」という在宅部門の基本方針に則って感染予防を行っています。

■コロナ対策のこれまで (2020年2月～2021年9月)

2020年4月以降、各スタッフの体調管理を行う

ため、毎朝（日曜祝日含む）検温の報告を義務付け37℃以上の発熱の場合や体調不良時においては出勤停止、また通勤、及び訪問時のマスク着用を義務付け、手洗い、手指の消毒、うがいの徹底という対応を継続的に行なっています。

緊急事態宣言発令に伴って、事務所内での接触に伴う密状態を回避するためICTを活用した業務体制に変更し、飛沫感染予防としてスタッフデス

クにアクリル板パーテーションを設置、また配送車両内に抗菌加工を施工し、業務上の感染予防の強化を行いました。

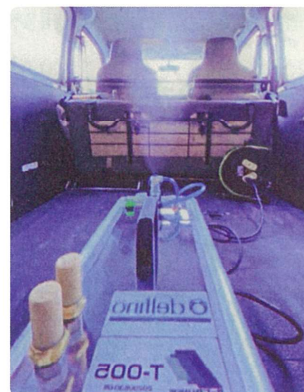
■現在の問題点

各スタッフとの業務上の情報交換ができにくくなっているため、情報交換の場や方法をどう設けるかが課題となっています。

■今後追加される対応策

ICTを活用した情報交換、情報共有が行えるように、システムやアプリの検討をしていきたいと考えています。

(寄稿日 2021年10月12日)



配送車両を抗菌加工



昭島腎クリニック



昭島腎クリニック/
院長

栗本義直



昭島腎クリニック/
事務課長

齊藤まさ子

■コロナ対策の基本スタンス

重症化リスクが高い透析患者を守り抜くための
感染予防と水際対策

■コロナ対策のこれまで (2020年2月～2021年9月)

「コロナウイルス感染対策チームの立ち上げ」

コロナ感染拡大がし始めた2020年3月に看護課が中心となってコロナウイルス感染対策チームを立ち上げました。何回かの感染対策会議を経て、「コロナウイルス感染対策マニュアル」を作成し、院内でコロナについて理解を深める他、「濃厚接触者が出た場合の対応フローチャート」を作成し職員への周知徹底を行いました。職員は出勤前の検温、健康状態のチェック、手指衛生、ソーシャルデスタンス、マスク着用などの基本対策の他、発熱者は出勤停止にするなど、感染源にならないよう努めました。昭島腎クリニックではこの間、「コロナに感染しない、感染させない」を目標に行って参りました。

「透析患者さんへクラスター発生防止のため感染対策協力をお願い」

透析患者さんには、「コロナ感染対策について」のお知らせを配布し、基本対策への理解と協力をお願いしました。ご自宅での検温や体調管理、発熱や嘔吐があった場合は来院前に必ず連絡をしてもらうほか、不要不急の外出や三密をさけた生活をお願いしました。濃厚接触になってしまった場合は、時間的、空間的分離の隔離透析を実施しリスクを避ける運用にしました。

外来患者さんには、来院時の検温、手指消毒、待合室でのソーシャルデスタンスなどの基本対策へのご協力をお願いしました。当院は透析患者さんへの影響を配慮し、発熱外来を行っていませんので、熱がある患者さんには発熱外来のある他院での受診をお薦めしました。コロナワクチン接種については、昭島市ではクリニックでの接種が許可されていないため行っていませんが、集団接種会場へ接種支援スタッフとしての協力を行いました。



隔離透析ベッドの様子



「他施設からの緊急OPe依頼時の対策および透析室と送迎時の感染対策」

当院は、他施設からの緊急OPe依頼に対応しています。コロナ感染対策チームは「新型コロナオペ室対応マニュアル・他施設患者様編」も作成しました。他施設からOPe依頼があった際には、紹介施設でのコロナ発生状況を確認、陽性者がいる場合は、来院時、車内で待機していただき、抗原検査を実施し、抗原検査マイナス、熱は37℃以下、感冒症状が無いこと、SPO2が96%以上など条件を満たすこと確認し、OPeを実施しています。

当院の透析患者さんはコロナワクチンの接種には積極的です。現在216名中204名が2回接種済みとなっていますので透析室での感染リスクは低くなっています。

陽性疑いの透析患者さんの隔離透析は主に午後透析の時間帯を利用しています。入室時間、入室経路を別にし、透析中は全窓を解放し、扇風機を窓側に向けて使用し、換気に配慮し、職員はフルPPEで対応し感染対策を万全にしています。

透析患者さんのリネン交換については週3回定期的に行っていますが、2020年のコロナ発生当初から透析ごとに患者さんが使用したすべてのものを(ベッド、周辺機器、リモコン、枕・布団など)アルコール清拭、噴霧を職員協力体制のもと実施しています。

透析患者さんの送迎は現在の利用者は100名ほどですが、送迎中は全窓解放、外気導入を使用し、車内の換気に努め、1台の送迎人数を制限し、利用ごとに車内をアルコールで清拭しております。運転手が濃厚接触者の送迎を行ってしまった場合などには抗原検査を行い、陰性を確認後通常勤務としています。

■現在の問題点

透析患者さんへ食事提供を継続しています。コロナ感染対策チームは「コロナウイルス食事対応マニュアル」も作成しました。患者食堂の4人席テーブルを1人席に変更し、座席間隔の調整を行い、食事は壁面を向いての配置にし、食事前の手洗い・黙食の協力をお願いし、喫食による感染を防ぐ対策を実施しております。座席数を20人から9人に減少させたことにより着席できない患者様

にはご不便をお掛けしておりますが、患者の返血時間から割り出し、食堂を使用する方、透析ベッドでの食事をする方、喫食時患者どおしが向き合わないよう振り分けを日々、透析室職員の連携で行っております。

■今後追加される対応策

現在まで昭島腎クリニックではコロナ院内感染者、クラスターは発生していませんので、気を抜かずこれまで継続してきた感染対策をさらに継続し、感染者を発生させないように今後も感染対策を実施していきたいと思えます。

(取材日2021年10月12日)

新型コロナオベ室対応 (他院患者様)	
14:00 来院を促し、抗原検査に時間がかかることを予め伝えておく	
■準備	13:45 セッティング開始 ・オベ室前室の窓を常時開放 ・扇風機使用(空気を流すようセッティング) ・マンシエット交換無し ・タオルケット可
■準備	・オベの通常準備 ・エタノールスプレー準備 ・非接触性体温計 ・SPO2モニター(感染用) ・抗原検査キット(検査室・紙コップも忘れない) ・タイマー(検体管理に使用) ・ビニール袋(検査後のゴミ入れ)
■来院時	・病院到着後、病院に電話してもらう 当院スタッフはオベ室に着替えた後、オベ用のサージカルマスク、キャップ、フェイスシールド、長袖ガウン、手袋2重の上 以下を待機車内で確認 ・KT測定(37度以下) ・症状の確認(感冒症状の有無) ・SPO2測定(96%以上) ・抗原検査(-)
以上一項目も当てはまらない場合のみ下記へ(当てはまる場合はDf要確認)	
・入室時サージカルマスク着用を確認、正面玄関より入室しアルコール消毒を実施 ・直接オベ室へご案内し、オベ室で着替える	
■開始	・間接介助と、直接介助の業務を区別する ・間接介助者はガウン、手袋、フェイスシールドを装着する。
■終了後	・患者の送迎時間を確認 (他患と接触の可能性がある場合は調整する)
■片付け	・エタノール噴霧後すぐに片付け可 ・マンシエット・ベッド周囲・シーツをエタノール噴霧 ・必要物品はエタノール噴霧し定位置へ戻す ・患者用スリッパを消毒する ・ゴミ袋は封をし、その後医療廃棄物へ

院内マニュアル(オベ室対応版)

立川新緑クリニック



立川新緑クリニック/
院長

宮崎唯雄



立川新緑クリニック/事務長・
法人事務局財務経理部/部長

菅直人

■コロナ対策の基本スタンス

職員を感染させないこと、患者さんに感染症をもちこませないこと、地域のクリニックとしての役割を果たすこと

■コロナ対策のこれまで (2020年2月～2021年9月)

入口での検温、手指消毒、健康チェックといった標準予防を行っています。また、診察室では医



入口での対策の様子

師と患者さんとの間にシールド

ドを設けるなどの対策も行っています。発熱外来を開設して、コロナかどうかのトリアージを

行い、陽性が疑われる場合は検査を行うことができる近隣の医療機関を紹介しています。ワクチン接種にも対応しており、2021年4月には近隣の医療機関などエッセンシャルワーカーに対して接種を行いました。その後、一般の患者さんへのワクチン接種にも対応しています。

整形外科の患者さんが多い当院は、リハビリのニーズが多いのですが、2020年4月に理学療法士が異動となり、新規採用できるまでの9か月間は運動療法を中止せざるを得ない状態となりました。現在では2名の理学療法士が入職し、現在では運動療法が再開されています。

これまで院内感染もなく、医療機能も維持ができており、地域のクリニックとしての役割は果たせていると思います。



診察室の対策の様子



受付の様子

■現在の問題点

発熱外来のために動線を分けることが必要なのですが、建物の構造から難しく、診察時間を制限するなど限定的になってしまっています。また、PCR検査なども行えたらと思いますが、人員不足で対応が困難な状況です。

■今後追加される対応策

新たに行う施策はありませんが、地域から求められる医療ニーズをくみ取り、現在の人員・医療機能を最大限に活かしながら、地域のクリニックとしての役割をしっかりと果たしていこうと考えております。

(取材日2021年10月12日)

立川介護老人保健施設わかば



立川介護老人保健施設わかば／施設長

武田行広



立川介護老人保健施設わかば／事務長

川野和也

■コロナ対策の基本スタンス

＜第4波：基本方針＞

都内陽性者の増大に伴い、職員や利用者に陽性者が確認されるのはやむを得ない。施設内で蔓延させないことを中心に体制を整えていく。

- ・ 職員の生活上の制限が長期化しているものの、利用者の生活を守るために引き続き制限は継続する。
- ・ 同居者家族や職員が体調不良を感じた場合には速やかに自宅待機とする。

■コロナ対策のこれまで (2020年2月～2021年9月)

「2021年5月のクラスター状況について」

2021年5月に入所職員の1名が陽性と判明し、濃厚接触者が次々に陽性となり、約3週間で入所の利用者及び職員に29名の陽性者が発生してしまいました。通所では利用者及び職員から1名ずつ陽性が確認されました。(入所クラスターとは別の発生経路) 総計31名が陽性となりました。

クラスター発生時は連日0時頃まで保健所と入院調整し、陽性確認後から5日以内で受け入れ病院へ移行をしました。陽性になった職員が次々に自宅療養となり、出勤者数が大幅に減りましたが、



入所者用デイルームを陽性者入所フロア専用職員更衣室へ(衝立等で工夫)

リハを全面中止し、リハ職員がケア要員として対応することでケア体制が継続することが出来ました。顔を合わせる機会が減ってしまった事で、情報共有がしづらくなってしまったことは課題となりました。

このクラスターの後、入所者の方はほとんど再入所されましたが、職員は退職者が相次いでしまっており、運営には厳しい状況が続いています。

「川崎幸病院からの看護師緊急応援派遣によって変化した意識」

クラスター後の、2021年5月より約6週間、川崎幸病院から看護師を派遣いただいたことで、疲弊した現場にエネルギーが注入されました。川崎幸病院の看護師の皆さんは、限られた状況のなか入所者のケアを積極的に行って現場を支えてくれました。当時、精神的にも身体的にも崩れかかっていた当施設の職員が持ちこたえられたのは、皆さんに来ていただいたからだと思っています。



隔離ゾーン (片側居室全体)。PPE 着脱スペース。

派遣された看護師の皆さんは、現場で利用者に対応してくれるだけでなく、隔離状況でのケアの工夫なども一緒に考えてくれたことで、一体感を持ってケアに取り組むことができました。これと並行して、保健所やDMAT感染対策看護師や

川崎幸病院の感染管理認定看護師の指導もあり、改めてゾーニングを行ったり、PPEの取り扱い方法を修正したりと対応の改善をすすめることが出来ました。

その後は、陽性者を蔓延させることなく運営できております。



陽性者の入院や隔離対応により、食堂利用者は減少していた。

■現在の問題点

クラスター後に全職員に事務長課長面談を行いました。現場からの厳しい意見が多く聞かれました。組織の体制を見直す機会と捉え、引き続き管理職を含め、施設の方向性について話し合いを継続しています。

■今後追加される対応策

入所者の方々は、心身機能の低下がみられ予備力も限られている高齢期を過ごす生活者です。原則、介護保険施設では感染対策も生活ケアだけで行わなければなりません。コロナの感染をどこまで医療的視点で介入し、生活支援の視点をどの範囲まで制限するべきかと考えがちですが、それは単なる医療と介護の綱引きということではなく複合的な視点が必要です。職員一人一人が日常のケアを通した声掛けや支援方法の工夫、ガラス越し面会の対応時間を拡充したり等、制限のある中で生活支援の取り組みは、平時のケアにも役立つことと考えてを更に進めていきたいと思っています。

(取材日 2021年10月13日)

石心会グループ学会発表一覧

2021.4~2021.11

◆川崎幸病院

学会発表

診療部

【国際学会】

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
尾崎健介	大動脈外科	2021.5.14	Aortic Asia 2021	Aortic arch replacement via left thoracotomy:Kawasaki Experience	Web	パネルディスカッション
大島 晋	大動脈外科	2021.5.14	Aortic Asia 2021	Conventional thoracoabdominal aortic replacement in the Largest volume center in Japan	Web	パネルディスカッション
大島 晋	大動脈外科	2021.11.7	The30th annual congress of ATCSA 2021	Open aortic repair after TEVAR failure	Web	シンポジウム
尾崎健介	大動脈外科	2021.11.13	International Summit on Diagnosis and Treatment of CV Disease-2021	Open repair to rescue TEVAR complications	Web	講演
大島 晋	大動脈外科	2021.11.13	International Summit on Diagnosis and Treatment of CV Disease-2021	Open thoracoabdominal aortic management	Web	講演
高梨秀一郎	心臓外科	2021.4.30	The AATS 101st Annual Meeting	Management of Diffuse CAD, Including Coronary Endarterectomy and Stentectomy for Full Metal Jacket	Web	口演
高梨秀一郎	心臓外科	2021.5.2	The AATS 101st Annual Meeting	Off-Pump Coronary Endarterectomy	Web	口演
高梨秀一郎	心臓外科	2021.11.6	17th International Congress of Update in Cardiology and Cardiovascular Surgery	Management of Diffuse CAD, Including Coronary Endarterectomy and Stentectomy for Full Metal Jacket	Web	口演
大西隆行	循環器内科	2021.5.18-20	Euro PCR	Intentional high implantation of balloon-expandable aortic valve	Web	ポスター
網木 学	外科	2021.11.20-21	15th Asia-Pacific Congress of Endoscopic and Laparoscopic Surgeons of Asia	Impact of Bariatric Fellowship Training on Perioperative Outcomes for Laparoscopic Sleeve Gastrectomy in the First Year as a Consultant Surgeon	Web	一般演題

【全国学会】

長谷聡一郎	大動脈外科	2021.5.22	第50回日本IVR学会総会	破裂外傷に対するステントグラフト治療	Web	シンポジウム
長谷聡一郎	大動脈外科	2021.8.3	ProGlide™×Gore Aortic Products	パークローズ ProGlide™ を用いた経皮的動脈ステントグラフト治療 -Failure teacher success-	Web	講演
津村康介	大動脈外科	2021.10.14-16	第62回日本脈管学会学術総会	臓器還流障害を合併した急性 B 型動脈解離の治療戦略	札幌	パネルディスカッション
長谷聡一郎	大動脈外科	2021.10.14-16	第62回日本脈管学会学術総会	Malperfusion を伴う StanfordA 型急性動脈解離に対する血管内治療 88 例の治療成績	札幌	パネルディスカッション
石河和将	大動脈外科	2021.11.1	第74回日本胸部外科学会定期学術集会	急性動脈解離 StanfordA 型の Hemiarth における SCP 使用の有無による脳梗塞合併症と循環停止時間の検討	東京	一般口演
大島 晋	大動脈外科	2021.11.3	第74回日本胸部外科学会定期学術集会	弓部動脈の残存解離に対する下行動脈人工血管置換術 529 例の検討	東京	一般口演
長谷聡一郎	大動脈外科	2021.11.6	第24回大動脈ステントグラフト研究会	片側総腸骨動脈慢性閉塞を伴った腹部動脈瘤に対する EVAR 中に多発塞栓症をきたした 1 例	Web	一般口演
木下友希	心臓外科	2021.6.19	日本冠動脈外科学会	第 2 回冠動脈吻合技術競技会 B クラス本選：3 位	Web	ライブ吻合競技
増田快飛	初期研修医	2021.6.12	日本冠動脈外科学会	第 2 回冠動脈吻合技術競技会 C クラス本選：優勝	Web	ライブ吻合競技
高梨秀一郎	心臓外科	2021.7.15	第26回冠動脈外科学会学術大会	私の冠動脈吻合法	山口	口演
高梨秀一郎	心臓外科	2021.7.15	第26回冠動脈外科学会学術大会	技術の伝承①何を伝える、いかに伝える	山口	口演
高梨秀一郎	心臓外科	2021.7.16	第26回冠動脈外科学会学術大会	長期予後からみた DMR に対する治療戦略	山口	口演
高梨秀一郎	心臓外科	2021.7.17	日本心エコー図学会第30回夏期講習会	大動脈弁の症例	Web	口演

石心会グループ学会発表一覧 (2021.4 ~ 2021.11)

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
木下友希	心臓外科	2021.10.14	日本脈管学会総会	ステントグラフト内挿術後 type2 エンドリークに対する腹腔鏡下下腸間膜動脈結紮術	Web	ポスター
高梨秀一郎	心臓外科	2021.10.19	東京HOCMフォーラム in 札幌	SRT の実際	北海道	口演
高梨秀一郎	心臓外科	2021.10.19	東京HOCMフォーラム in 札幌	経心尖アプローチによる広範囲心筋切除術	北海道	口演
高梨秀一郎	心臓外科	2021.11.1	第74回日本胸部外科学会定期学術集会	ランチョンセミナー	東京	口演
高梨秀一郎	心臓外科	2021.11.1	第74回日本胸部外科学会定期学術集会	イブニングセミナー Remodeling	東京	口演
高梨秀一郎	心臓外科	2021.11.3	第 74 回日本胸部外科学会定期学術集会	External ring annuloplasty の tips and pitfalls	東京	口演
高梨秀一郎	心臓外科	2021.11.5	ストラクチャークラブ ジャパンライブデモンストレーション 2021	人工弁機能不全の基礎	東京	口演
高梨秀一郎	心臓外科	2021.11.6	ストラクチャークラブ ジャパンライブデモンストレーション 2021	Atrial MR への外科的介入、手術でどこまで治せるのか	東京	口演
桃原哲也	循環器科	2021.8.27-28	第 11 回日本経カテーテル心臓弁治療学会学術集会 (JTVT)	① TAVI ライブ: 「Evolut」 コメンテーター ② シンポジウム 2: PCI after TAVI 演者 ③ 共催セミナー 4 (メドトロニック) Cusp overlap Technique 座長 ④ シンポジウム 6 Valve in Valve コメンテーター	福岡	Web
桃原哲也	循環器科	2021.9.18	心臓病学会 2021	一般演題座長	鳥取	Web
桃原哲也	循環器科	2021.11.5-6	Structure Club Japan Live Demonstration 2021	① TAV in SAV を極める 座長 ② ランチョン S3 を高めに植え込む 演者	東京	Web
桃原哲也	循環器科	2021.11.20	ARIA2021	Ultimate cases meeting ご意見番	福岡	Web
大西隆行	循環器科	2021.11.5-6	Structure Club Japan Live Demonstration 2021	冠動脈閉塞を来した自己拡張型人工弁をスネアでベイルアウトし後日 TAVI を再施行した一例	東京	Web
日月裕司	臨床 研修センター	2021.09.24	日本食道学会	ポスターセッション: 食道がん診断	Web	司会
壺井祥史	脳神経外科	2021.4.23-24	第 30 回脳神経外科手術と機器学会	急性期血栓回収療法における COVID-19 対応の工夫	札幌	シンポジウム
壺井祥史	脳神経外科	2021.5.15	第41回日本脳神経外科コンgres総会	若手医師に伝えたい! 血管内治療の極意 AIS 治療について	横浜	ランチョン セミナー
壺井祥史	脳神経外科	2021.6.3-4	第36回日本脊髄外科学会	前方固定術にて症状改善が得られた BowHunter 症候群の 1 例	京都	Web
長崎弘和	脳神経外科	2021.6.3-4	第36回日本脊髄外科学会	椎骨動脈解離による小脳梗塞の原因として環軸椎亜脱臼を考慮した一例	京都	Web
松岡秀典	脳神経外科	2021.6.3-4	第36回日本脊髄外科学会	腰部脊柱管狭窄症に対するチタン製 Swift を用いた間接的除圧術	京都	口演
松岡秀典	脳神経外科	2021.6.3-4	第36回日本脊髄外科学会	頸椎変性疾患に対する前方アプローチ手術による周術期合併症と対策	京都	口演
大橋 聡	脳神経外科	2021.6.3-4	第36回日本脊髄外科学会	治療に苦慮した頸椎脊髄硬膜動静脈瘤の一例	京都	Web
成清道久	脳神経外科	2021.6.3-4	第36回日本脊髄外科学会	後咽頭髄膜瘤を呈した神経線維腫の 1 例	京都	Web
野上 諒	脳神経外科	2021.6.3-4	第36回日本脊髄外科学会	中心静脈カテーテルのガイドワイヤーが頸部脊柱管内へ迷入した 1 例	京都	口演
壺井祥史	脳神経外科	2021.6.24-26	脳血管内治療ブラッシュアップセミナー2021	大腿動脈穿刺部に解離を来した 1 例	神戸	口演
壺井祥史	脳神経外科	2021.10.27-30	日本脳神経外科学会第 80 回学術総会	急性期血栓回収療法におけるガイディングカテーテル誘導の工夫	横浜	ポスター
長崎弘和	脳神経外科	2021.10.27-30	日本脳神経外科学会第 80 回学術総会	主幹動脈閉塞に対する血栓回収療法非開通例における緊急バイパス術の治療成績	横浜	口演
松岡秀典	脳神経外科	2021.10.27-30	日本脳神経外科学会第 80 回学術総会	頸椎椎弓切除術における C3 laminectomy の臨床的意義	横浜	ポスター
大橋 聡	脳神経外科	2021.10.27-30	日本脳神経外科学会第 80 回学術総会	癒着性くも膜炎に対する脊髄 CT ミエログラフィーの有用性	横浜	ポスター
成清道久	脳神経外科	2021.10.27-30	日本脳神経外科学会第 80 回学術総会	病院間転送で行われる血栓回収療法における DoctorCar 運用の有用性	横浜	口演
野上 諒	脳神経外科	2021.10.27-30	日本脳神経外科学会第 80 回学術総会	100 歳を超える超高齢者に対して機械的血栓回収療法を行った 3 例	横浜	ポスター

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
牧野英彬	脳神経外科	2021.10.27-30	日本脳神経外科学会第80回学術総会	術中エコーが有用であった嚢胞内ガドリニウム漏出を伴う頸髄神経節腫瘍の一例	横浜	ポスター
壺井祥史	脳神経外科	2021.11.11-12	第24回日本臨床脳神経外科学会	血栓回収療法における新たな ADAPT 法：r-MAX の有効性	沖縄	口演
成清道久	脳神経外科	2021.11.11-12	第24回日本臨床脳神経外科学会	病院間転送で行われる血栓回収療法における DoctorCar 運用の有効性	沖縄	口演
野上 諒	脳神経外科	2021.11.11-12	第24回日本臨床脳神経外科学会	100 歳を超える超高齢者に対して機械的血栓回収療法を行った 3 例	沖縄	口演
松岡秀典	脳神経外科	2021.11.18-19	第56回日本脊髄障害医学会	骨粗鬆症性圧迫骨折に対する薬物治療の選択	Web	口演
壺井祥史	脳神経外科	2021.11.25-27	第37回日本脳神経血管内治療学会学術総会	COVID-19 対策下での急性期血栓回収療法における Door to Puncture time の変化	福岡	口演
長崎弘和	脳神経外科	2021.11.25-27	第37回日本脳神経血管内治療学会学術総会	血栓回収療法における Doctor Car 運用による Drive and Drip 法の有用性について	福岡	シンポジウム
長崎弘和	脳神経外科	2021.11.25-27	第37回日本脳神経血管内治療学会学術総会	急性期脳卒中診療における Nurse Practitioner の役割	福岡	シンポジウム
成清道久	脳神経外科	2021.11.25-27	第37回日本脳神経血管内治療学会学術総会	血栓回収療法における頭部 CT 灌流画像を軸にした脳梗塞画像診断の現状	福岡	口演
長谷川明俊郎	婦人科	2021.4.25	第 73 回日本産婦人科学会学術講演会	患者 QOL 向上に繋がる低侵襲手術実現を目指して	新潟	口演
黒田 浩	婦人科	2021.9.11-13	第61回日本産科婦人科内視鏡学会、21st APAGE Annual Congress	多種多様な筋腫に対応する ーダイヤモンド配置ー	Web	ワークショップ
黒田 浩	婦人科	2021.9.11-13	第61回日本産科婦人科内視鏡学会、21st APAGE Annual Congress	異型子宮内膜増殖症 12 例に対して子宮マニピュレーターを使用しないで施行した腹腔鏡下子宮全摘の検討	Web	口演
黒田 浩	婦人科	2021.9.11-13	第61回日本産科婦人科内視鏡学会、21st APAGE Annual Congress	腹腔鏡下子宮全摘術の子宮マニピュレーター操作を考える	Web	口演
黒田 浩	婦人科	2021.9.18-19	第 8 回 Surgical Education Summit	折鶴ドライボックストレーニングのススメ ～神の手チャレンジ～	Web	口演
石山泰弘	外科	2021.4.8-10	第121回日本外科学会定期学術集会	大腸癌術後の縫合不全に対する再手術となる危険因子とは？	Web	ポスター
伊藤慎吾	外科	2021.4.15-16	第107回日本消化器病学会総会	一般病院における切除不能進行再発大腸癌症例に対するがん遺伝子パネル検査の実践	Web	一般演題
長山和弘	呼吸器外科	2021.5.19-21	第38回日本呼吸器外科学会学術集会	重症心不全に対する Central ECMO 装着中に発症した有癰性膿胸に対し、開窓術後に陰圧閉鎖療法を併用した 1 例	Web	一般演題
石山泰寛	外科	2021.6.17-19	第46回日本外科系連合学会	大腸癌術後の縫合不全の重症度は長期成績に影響を与えるのか？	Web	ワークショップ
伊藤慎吾	外科	2021.6.17-19	第46回日本外科系連合学会	当院における診療看護師の勤務実態と PICC 挿入について	Web	ワークショップ
伊藤慎吾	外科	2021.7.7-9	第76回日本消化器外科学会総会	当院の直腸癌における縫合不全防止の取り組み	京都	一般演題
望月一太郎	外科	2021.7.7-9	第76回日本消化器外科学会総会	当科における心大血管疾患治療後の虚血性腸炎に対する手術例の検討	京都	一般演題
石山泰寛	外科	2021.7.7-9	第76回日本消化器外科学会総会	脾彎曲部の横行結腸癌に対するリンパ節郭清はどこまで必要があるのか？	京都	一般演題
原田龍之助	外科	2021.7.7-9	第76回日本消化器外科学会総会	急性虫垂炎に対する Interval Appendectomy の現状と至適待機期間の検討	京都	一般演題
伊藤慎吾	外科	2021.10.21-23	第 59 回日本癌治療学会学術集会	腹腔鏡手術の高齢者大腸癌に対する安全性の検討	神奈川	一般演題
石山泰寛	外科	2021.11.12-13	第76回日本大腸肛門病学会	脾彎曲部横行結腸癌に対する脾臓、腎前筋膜を意識した手術手技	広島	一般演題
伊藤慎吾	外科	2021.11.12-13	第76回日本大腸肛門病学会	高齢者大腸に対する腹腔鏡手術の安全性についての検討	広島	一般演題
原田龍之助	外科	2021.11.12-13	第76回日本大腸肛門病学会	閉塞性大腸癌に対する大腸ステント留置後の当院における術後短期成績	広島	一般演題
網木 学	外科	2021.11.18-20	第83回日本臨床外科学会	当科における腹腔鏡下スリーブ状胃切除術定型化の試み	東京	パネルディスカッション
伊藤慎吾	外科	2021.11.18-20	第83回日本臨床外科学会	ナースと考える外科診療：外科診療における特定行為研修制度の可能性	東京	総会特別企画
望月一太郎	外科	2021.11.18-20	第83回日本臨床外科学会	高度肥満の急性虫垂炎に対し optical 法で行った腹腔鏡下手術の 1 例	東京	一般演題

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
石山泰寛	外科	2021.11.18-20	第83回日本臨床外科学会	中結腸動脈周囲の郭清を行った横行結腸癌症例の手術手技と成績	東京	要望演題
岡本法奈	消化器内科	2021.4.15-17	日本消化器病学会	十二指腸狭窄を伴った正中弓状韌帯圧迫症候群（MALS）の3例	東京	Web
柏葉 裕	腎臓内科	2021.6.4-6.6	第66回日本透析医学会学術集会・総会	胸腔鏡下肺部分切除で多発血管炎性肉芽腫症（GPA）と診断した長期透析例	横浜	ポスター
山崎あい	腎臓内科	2021.6.4-6.6	第66回日本透析医学会学術集会・総会	チタニウムエクステンダー接続部においてPDカテーテルの破損をきたした一例	横浜	ポスター
川崎真生子	腎臓内科	2021.6.4-6.6	第66回日本透析医学会学術集会・総会	透析導入期に不明熱を認めその診断に苦慮した長期ステロイド使用例	横浜	ポスター
塚原知樹	腎臓内科	2021.6.18-20	第64回日本腎臓学会学術総会	「ゲームチェンジャーの登場？新薬による水電解質・酸塩基異常の新しい治療法」	横浜	教育講演
谷亀元香	腎臓内科	2021.10.30-31	第27回日本腹膜透析医学会学術集会・総会	超高齢PD患者3例の感染性合併症発症要因に対する検討	東京	ポスター

【地方学会】

長谷聡一郎	大動脈外科	2021.4.8	東京アンギオ・IVR会	Case of the month 回答者	Web	一般口演
長谷聡一郎	大動脈外科	2021.10.29	AFX Symposium in Kanagawa	治療成績に反映されないAFXステントグラフト事件簿 -KAC178例の治療経験から-	Web	講演
成清道久	脳神経外科	2021.8.21	第20回NPO法人日本脳神経血管内治療学会関東地方学術集会	病院間転送で行われる血栓回収療法におけるDoctorCarの現状	横浜	シンポジウム
野上 諒	脳神経外科	2021.8.21	第20回NPO法人日本脳神経血管内治療学会関東地方学術集会	100歳を超える超高齢者に対して機械的血栓回収療法を行った3例	横浜	口演
橋本啓太	脳神経外科	2021.9.4	第145回 日本脳神経外科学会 関東支部学術集会	当院における血栓回収が奏功しなかった症例に対する急性期バイパス術の治療成績	東京	Web
野上 諒	脳神経外科	2021.9.4	第145回 日本脳神経外科学会 関東支部学術集会	経皮的椎体形成術後、両下肢麻痺を起こした脊髄くも膜下出血の一例	東京	Web
川越貴史	脳神経外科	2021.9.4	第145回 日本脳神経外科学会 関東支部学術集会	家庭用マッサージ機の誤使用が原因で生じた脳脊髄液減少症の一例	東京	Web
壺井祥史	脳神経外科	2021.9.24-26	第12回Hybrid Neurosurgery研究会	Stent retriever の使用法	横浜	口演
桃原哲也	循環器内科	2021.5.15-19	KOKURA LIVE 2021	① TAVI Self expandable valve 座長 ② 「ランチョンセミナー (TAVI)」 座長	福岡	Web
桃原哲也	循環器内科	2021.7.9-10	Tokyo Percutaneous cardiovascular Intervention Conference 2021	① Structural Heart Disease Video Live Part 1 BAV コメンテーター ② TAVI: Cusp Overlap Technique 座長	東京	Web
桃原哲也	循環器科	2021.10.15	CVIT関東甲信越地方会 Tokyo LIVE2021	ビデオライブ (S3) 演者	東京	Web
桃原哲也	循環器科	2021.12.11-13	Pan-Pacific Primary Angioplasty Conference	11.12 イブニングセッション7 ACS 二次予防における積極的脂質低下療法的重要性 座長	東京	現地
大西隆行	循環器内科	2021.5.8	第57回日本心臓血管インターベンション治療学会 関東甲信越地方会	維持透析中の有症候性重症大動脈弁狭窄症に対し経カテーテル大動脈弁植込み術を施行した一例	東京	Web
大西隆行	循環器内科	2021.10.16	第58回日本心臓血管インターベンション治療学会 関東甲信越地方会	左鎖骨下動脈アプローチによりTAVIを施行した左前腕シャントを有する透析の一例	東京	Web
福富基城	循環器内科	2021.5.8	第57回CVIT 関東甲信越地方会	Calcified nodule に基づくSTEMIに対しWolverine TM + +DCB が有効であった一例	東京都	Web
木村隆大	循環器内科	2021.5.8	第57回CVIT 関東甲信越地方会	重症大動脈弁狭窄症から心原性ショックを呈したが緊急経カテーテル大動脈弁置換術で救命でき、良好な転機を得た一例	東京都	Web
川崎真生子	腎臓内科	2021.2.20	第75回神奈川腎炎研究会	腎細胞癌の摘出組織から巣状糸球体硬化症 (Cellular variant) と診断したネフローゼ症候群の一例	横浜	口演
河西恵州	腎臓内科	2021.9.25-26	第51回日本腎臓学会 東部学術集会	強皮症腎クリーゼにTMAを合併し、血漿交換とACE阻害薬が奏功した一例	Web	口演
谷亀元香	腎臓内科	2021.9.25-26	第51回日本腎臓学会 東部学術集会	低尿酸血症を伴わず運動後急性腎障害をきたした一青年例	Web	口演
川崎真生子	腎臓内科	2021.9.25-26	第51回日本腎臓学会 東部学術集会	IgA腎症 (IgAN) に微小変化型ネフローゼ症候群 (MCNS) を合併したと思われる一成人例	Web 開催	ポスター

【講演会】

内室智也	心臓外科	2021.5.11	テルモWeb講演会	CABGビデオレクチャー	Web	口演
------	------	-----------	-----------	--------------	-----	----

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
内室智也	心臓外科	2021.5.27	アビオメッド Heart Recovery Team Conference	Impella 症例検討会	Web	指定討論
内室智也	心臓外科	2021.10.15	アビオメッド補助循環用ポンプカテーテル Surgical Seminar	CABG with IMPELLA	Web	口演
大西隆行	循環器科	2021.4.16	Heart Failure Expert Meeting in KAWASAKI	ディスカッション「心不全治療の課題と新戦略」	川崎	Web
大西隆行	循環器科	2021.9.10	冠動脈治療戦略検討会 地域で支えよう～PCI after TAVI～	TAVI 後の PCI 症例提示, Evolut Pro+ 留置後 LAD への PCI	川崎	Web
門間 周	循環器内科	2021.10.30	第 23 回 AP・MI 研究会	心原性ショックを呈した左主幹部の急性心筋梗塞に対して Impella 補助後に緊急 PCI を施行した一例	東京都	Web
佐藤兼重	形成外科	2021.11.21	第 13 回クラニオフェイシャルセンターワーク ショップ	Craniofacial Surgery の歩みと今後の展望 - 私見 -	千葉市	指定講演
岩崎真一	婦人科	2021.9.24	婦人科がんの医療連携を考える会	卵巣がん化学療法の現状～個別化医療の時代～	Web	口演

看護部

竹内由紀	看護部	2021.8.19-9.14	第26・27回合同学術大会日本摂食嚥下リハビリテーション学会	急性期病院における摂食嚥下機能評価を行った患者の背景調査	愛知	ポスター
竹内由紀	看護部	2021.8.19-9.14	第26・27回合同学術大会日本摂食嚥下リハビリテーション学会	摂食嚥下障害患者への退院支援	愛知	口演
和出 南	看護部	2021.8.21	第20回NPO法人日本脳神経血管内治療学会関東地方会・学術集会	時間短縮を目指す血栓回収療法における脳卒中シミュレーション研修の重要性	東京	口演
和出 南	看護部	2021.11.11-12	第24回日本臨床脳神経外科学会	AIS 診療における診療看護師の導入と効果	沖縄	口演
和出 南	看護部	2021.11.25-27	第37回NPO法人日本脳神経血管内治療学会学術集会	血栓回収療法における診療看護師の導入と効果	福岡	シンポジウム

薬剤部

米内 洸	薬剤部	2021.8.28-29	日本病院薬剤師会関東ブロック第51回学術大会	当院におけるサクビトリルバルサルタン使用実態調査	Web	ポスター発表
磯部賢樹	薬剤部	2021.8.28-29	日本病院薬剤師会関東ブロック第51回学術大会	セフェム投与による抗菌薬関連脳症が疑われた患者に対して薬剤師が介入した1例	Web	ポスター発表

【講演会】

和出 南	看護部	2021.6.12	第5回 神奈川脳血栓回収療法セミナー	AIS 診療における診療看護師の導入	神奈川	口演
------	-----	-----------	--------------------	--------------------	-----	----

医療技術部

長谷川高志	CE 科	2021.6.4	第66回 日本透析医学会学術集会・総会	手背浮腫を伴う慢性完全閉塞症に簡易 pull through 法が奏効した1例	Web	ポスター発表
山田剛士	CE 科	2021.4.17	Ebstein 研究会	Ebstein's Anomaly に対し2種類の3D Sytem で Mapping を行った1例	Web	セミナー講演
長澤洋一	CE 科	2021.4.18	第27回 日本体外循環技術医学会 関東甲信越地方会大会	術後管理を見据えた体外循環	Web	シンポジウム
長澤洋一	CE 科	2021.9.30	Terumo cardiovascular Webinar Series	川崎幸病院 体外循環業務の紹介	Web	セミナー講演
八馬拓也	CE 科	2021.10.16	第46回 日本体外循環技術医学会大会	心臓外科の開業および TAVI 開始における conversion 用回路の製作	Web	口演発表
長澤洋一	CE 科	2021.10.16	第46回 日本体外循環技術医学会大会	aortic surgery and the treatment strategy of Kawasaki Saiwai Aortic Center	Web	シンポジウム
長澤洋一	CE 科	2021.11.18	テルモ パーフュージョン スキルアップセミナー in 東北	川崎幸病院における大血管手術と体外循環の特徴	Web	セミナー講演
八馬 豊	CE 科	2021.11.27	第 37 回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会学術総会	TERUMO 社製 Glidesheath slender ㊞を用いた TRA の有用性	福岡県	口演発表
山田剛士	CE 科	2021.11.27	第 37 回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会学術総会	血栓回収療法における携帯型迅速クレアチニン測定装置による急性腎障害 (AKI) の予測	福岡県	口演発表

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
齋藤一樹	放射線科	2021.6.4	第36回日本脊髄外科学会 総会	CT-Myelography のカラー表示が有用であった一例	京都	口演
齋藤一樹	放射線科	2021.7.1	第67回不整脈心電学会学術大会	カテーテルアブレーションに対する CARTO-UNIVU システム使用時の被ばく低減の試み	Web	e-poster
齋藤一樹	放射線科	2021.11.25	第37回NPO法人日本脳神経血管内治療学会	D2P 45 分を達成するための放射線勤務体制の検討	Web	e-poster
小冷信吾	放射線科	2021.11.26	第37回NPO法人日本脳神経血管内治療学会	COVID-19 蔓延下の血栓回収療法における D2P 維持のための血管撮影室でのアプローチ	福岡	シンポジウム
佐野真由子	栄養科	2021.5.15	第12回 日本臨床栄養代謝学会首都圏支部会学術集会	NST 専従要件の緩和はどのような変化をもたらしたか - 当院の NST 加算件数と運用の変化 -	Web	ポスター

救急部

蒲池淳一	EMT 科	2021.9.25	第1回 日本病院救急救命士ネットワークシンポジウム	病院に勤務する救急救命士の新たな役割と成果	Web	シンポジウム
蒲池淳一	EMT 科	2021.10.31	第7回 日本病院前救急救命学会学術集会	病院に勤務する救急救命士の新たな役割と成果	Web	一般演題
前川拓海	EMT 科	2021.10.31	第7回 日本病院前救急救命学会学術集会	脳卒中診療における院内救命士の役割	Web	一般演題

事務部

森迫伽奈子	脳神経外科	2021.11.11-12	第24回日本臨床脳神経外科学会	血栓回収療法における DoctorAssistant の役割	沖縄	口演
-------	-------	---------------	-----------------	--------------------------------	----	----

論文・教科書執筆等

診療部

発表者	部署	雑誌名	タイトル	分類
壺井祥史	脳神経外科	JNET Journal of Neuroendovascular Therapy	COVID-19 countermeasures in acute stroke	論文
石山泰弘	外科	外科 Vol.83	腎移植後21年目にS状結腸憩室穿孔治療後に reverse Hartmann 手術を施行し周術期管理に難渋した1例	雑誌
石山泰弘	外科	Asian journal of surgery	Safety and effectiveness of indocyanine green fluorescence imaging for evaluating nonocclusive mesenteric ischemia	雑誌
伊藤慎吾	外科	Journal of Medical Case Reports	Primary malignant melanoma of the esophagus successfully treated with nivolumab:a case report	雑誌
伊藤慎吾	外科	癌の臨床 第66巻・第1号 2020年	Stage IV大腸癌のR0切除例における予後因子の解析—大腸癌全国登録症例の検討—	雑誌
長山和弘	呼吸器外科	JTCVS Techniques	Lobectomy for lung cancer in a patient with Fontan circulation: A case report	雑誌
石山泰寛	外科	外科 Vol.83	孤立性上腸間膜動脈解離を伴う虚血性腸炎に対してインドシアニンググリーン蛍光法で腸管温存を行えた1例	雑誌
黒田 浩	婦人科	こだわりのTLH エキスパートのTLHを知り、自分のTLHを作ろう	助手の立場から(助手力のTLH)	書籍
岩崎真一	婦人科	神奈川産科婦人科学会誌 vol 58.No1.2021	当科の卵巣癌患者におけるコンパニオン診断としてのBRCA1/2 遺伝子検査の現状	雑誌
大西隆行 桃原哲也	循環器内科	内科 2021年9月 第2章5	ST上昇、急性心筋梗塞だと思っても急性大動脈解離の除外を忘れてはいけない	雑誌
桃原哲也	循環器内科	新PCI・カテーテル室のピンチからの脱出法 達人が教える119のテクニック	冠動脈穿孔時 心タンポナーデ御の迅速な心嚢穿刺はどうする？	書籍
桃原哲也、 大西隆行、 高橋英雄、 安藤 智	循環器内科	Journal of Cardiology Cases	Catheter-based biopsy leading to early surgical intervention of the pulmonssry artery intimal sarcoma	雑誌
桃原哲也、 羽鳥 慶、 大西隆行、 安藤 智、 木村隆人	循環器内科	Journal of Transcatheter Valve Therapies	Survival of Severe Aortic Stenosis Complicated with Cardiogenic Shock by Emergent Eranscatheter Aortic Valve Implantation and Intra-Aortic Balloon Pump	雑誌
山田英行	腎臓内科	日本内科学会雑誌 第110巻(10号): p2248-2255, 2021	今月の症例「左房内IgG4関連炎症性偽腫瘍を生じた慢性腎不全の1例」	雑誌
塚原知樹	腎臓内科	輸液グリーンノート	II 病態別 2横紋筋融解症	書籍

救急部

蒲池淳一	EMT 科	日本臨床救急医学会雑誌 2021年24巻	病院内に勤務する救急救命士としての業績と今後の展望	雑誌
------	-------	----------------------	---------------------------	----

◆川崎幸クリニック

学会発表

医局

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
青島正大	呼吸器内科	2021.5.1	第95回日本感染症学会 学術講演会	COVID-19パンデミック下の大都市圏無床クリニックにおける 発熱外来の診療実態の検討—単施設後方視的観察研究	東京	口演 (一般演題)
森上善史	糖尿病科	2021.11.26-27	第31回臨床内分泌 update	ルセオグリフロジン投与による代謝・心機能改善効果	大阪	ポスター発表

◆第二川崎幸クリニック

学会発表

診療部

【全国学会】

木村英英	乳腺外科	2021.5.15-16	第46回日本乳腺甲状腺 超音波医学科学術集会	クリニック医師のためのワークショップ：US カテゴリー3の症 例どうしていますか？	Web	ワークショップ
木村英英	乳腺外科	2021.5.15-16	第46回日本乳腺甲状腺 超音波医学科学術集会	一般演題 乳腺1 座長	Web	座長
木村英英	乳腺外科	2021.7.1-3	第29回日本乳癌学会 学術集会	コロナ禍における乳癌診断遅延と予後への影響	横浜	eポスター
木村英英	乳腺外科	2021.10.9	第47回日本乳腺甲状腺 超音波医学科学術集会	超音波診断装置を用いた母乳育児ケア	Web	座長
木村英英	乳腺外科	2021.10.16-17	日本超音波医学会第 33回関東甲信越地方 学術集会	乳腺疾患のイメージリーディング 症例3	Web	口演
木村英英	乳腺外科	2021.11.26-27	第31回日本乳癌検診学 会学術総会	コロナ禍における乳癌診断遅延と予後への影響—都市と地方の 比較—	京都	厳選企画
中村幸子	乳腺外科	2021.6.18	第27回日本遺伝性腫 瘍学会学術総会	当クリニックでHBOCと診断された乳癌3症例の考察と課題	Web	eポスター
中村幸子	乳腺外科	2021.7.1-3	第29回日本乳癌学会 学術集会	当クリニックで経験したがん遺伝子パネル検査の2症例	横浜	eポスター
中村幸子	乳腺外科	2021.10.13-15	日本人類遺伝学会第 66回大会第28回日本 遺伝子診療学会大会	症例から学んだ、がん遺伝子パネル検査のタイミング	横浜	ポスター

看護部

【全国学会】

田邊真由美	看護科	2021.10.2	第43回神奈川ストーマ 研究会	ストーマ周囲トラブルと抗がん剤投与スケジュールを検討した1 例を振り返る	Web	口演
遠藤圭子	看護科	2021.11.27	第23回神奈川看護学会	ドセタキセルによる浮腫発現状況の実態調査	横浜	パネル

論文・教科書執筆等

診療部

発表者	部署	雑誌名	タイトル	分類
木村英英	乳腺外科	Journal of Case Reports and Images in Oncology 19th August, 2021	Association of BRCAness with taxane resistance in triple-negative breast cancer: A study of 7 cases	論文

◆川崎クリニック

学会発表

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
由井淑子	看護部	2021.6.4-6	第66回日本透析医学会 学術集会・総会	新型コロナウイルス感染症対策の取り組み～陽性患者発生の際 の経験から～	横浜	ポスター
若狭幹雄	透析/ 腎臓内科	2021.6.4-6	第66回日本透析医学会 学術集会・総会	血液透析患者のフレイル・サルコペニア・骨粗鬆症の実態	横浜	ポスター
佐藤友美	看護部	2021.6.4-6	第66回日本透析医学会 学術集会・総会	足趾切断を繰り返す糖尿病透析患者への看護介入～在宅支 援者との連携～	横浜	ポスター
中村賢洋	透析技術課	2021.6.4-6	第66回日本透析医学会 学術集会・総会	OHDFとリクセル(L)の併用効果検討	横浜	ポスター
荒川遼太	透析技術課	2021.6.4-6	第66回日本透析医学会 学術集会・総会	コロナ禍における3密を避けた新しい防災訓練の実施	横浜	ポスター

◆さいわい鹿島田クリニック

学会発表

看護部

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
小川翔子	看護部	2021.6.4-6	第66回日本透析医学会 学術集会・総会	透析患者における COVID-19 流行に伴う栄養状態の変化	横浜	ポスター
松浦阿衣良	看護部	2021.10.30-31	第27回日本腹膜透析医 学会学術集会・総会	腹膜透析から血液透析へ移行する患者の思い	東京	ポスター

透析技術課

武田 勝	透析技術課	2021.6.4-6	第66回日本透析医学会 学術集会・総会	重曹による酸洗浄排水中和を 1 年実施した結果報告	横浜	ポスター
齋藤千尋	透析技術課	2021.6.4-6	第66回日本透析医学会 学術集会・総会	透析患者における COVID-19 流行に伴う栄養状態の変化	横浜	ポスター
齋藤千尋	透析技術課	2021.11.14	第4回神奈川県臨床工 学会	これって本当か!? ～透析の謎～	横浜	シンポジウム

◆川崎健診クリニック

学会発表

【全国学会】

原田恵美	放射線科	2021.9.10-24	第62回日本人間ドック 学会学術大会	『新判定基準が及ぼす効果-乳房超音波診断ガイドライン改定 第4版-』	Web	一般口演
------	------	--------------	-----------------------	---------------------------------------	-----	------

◆在宅部門川崎地区

学会発表

【全国学会】

香取理恵子 (共同演者)	さいわい訪問看護 ステーション	2021.8.21	日本摂食嚥下リハ ビリテーション学会 JSDR2021	摂食嚥下障害の退院支援	愛知	口演
野坂あずさ (共同演者)	さいわい訪問看護 ステーション	2021.8.21	日本摂食嚥下リハ ビリテーション学会 JSDR2021	摂食嚥下障害の退院支援	愛知	口演

【シンポジウム・パネリスト】

深井純子	さいわい訪問看護 ステーション	2021.11.13	川崎市地域包括ケアシ ステム市民シンポジウム	「自分や家族が望む暮らしを実現するために」	川崎市	講演
------	--------------------	------------	---------------------------	-----------------------	-----	----

【研修講師】

講師	部署	期間	タイトル	分類
宮本祥代	さいわい訪問看護 ステーション	第1回 2021.5.7、第2回 2021.7.26	訪問看護ステーションのリスクマネジメントの実践	Web
深井純子	さいわい訪問看護 ステーション	2021.10.13	介護支援専門員更新研修Ⅰ「社会資源の活用に向けた関係機関 との連携に関する事例」	法廷研修講師

◆埼玉石心会病院

学会発表

診療部

【国際学会】

山根正久	循環器内科	2021.6.11	The 21nd CTO Club in 2021	CTO Live Case Transmission: Ootakanomori Hospital	Web	Live Supervisor
山根正久	循環器内科	2021.7.24	CARDIOLOGICAL SOCIETY OF INDIA 2021	CTO : Hybrid Algorithm	Web	講演
山根正久	循環器内科	2021.9.17	EURO CTO CLUB 2021	NEXT Generation CTO guide wire	Web (イタリア)	講演
山根正久	循環器内科	2021.10.8	asia PCR 2021	Case 2 – Use of Doble Lumen Catheter in Antegrade CTO-PCI	Web	講演
山根正久	循環器内科	2021.11.18	TOBI 2021	How I manage my worst complication	Web	講演
山根正久	循環器内科	2021.11.21	SLHA 2021 (Sri Lanka PCI webinar)	Retrograde approach in CTO PCI	Web	講演
山根正久	循環器内科	2021.11.25	CTO VIRTUAL SUMMIT BRAZIL 2021	Retrograde technique: how to choose guidewires and microcatheters?	Web	講演
山根正久	循環器内科	2021.11.29	CTO Channel 2021	How to manage impenetrable proximal cap ?	Web	講演

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
内野 晃	放射線科	2021.4.22-24	The 13rd Asian-Oceanian Congress of Neuroradiology (AOCNR)	Right vertebral artery entering the third transverse foramen diagnosed by magnetic resonance angiography: a report of two cases.	Web	ポスター
内野 晃	放射線科	2021.4.22-24	The 13rd Asian-Oceanian Congress of Neuroradiology (AOCNR)	Type 2 persistent primitive olfactory artery associated with bilateral ophthalmic arteries arising from the middle meningeal arteries diagnosed by magnetic resonance angiography.	Web	ポスター

【全国学会】

西山茂樹	循環器内科	2021.10.28	CCT 2021	A double CTO case of CIA-EIA and SFA that succeeded in revascularization in two stages	Web	一般口演
阿部敏幸	消化器内科	2021.5.14-16	第101回日本消化器内視鏡学会総会	高齢者の治療困難結石に対する経口胆道鏡 (SpyGlass DS) 下 EHL の有用性と安全性の検討	Web	一般口演
阿部敏幸	消化器内科	2021.10.7-8	第57回日本胆道学会学術集会	経口胆道鏡 (SpyglassDS) ガイド下内視鏡的経乳頭の胆嚢ドレーナージ (ETGBD) を行った急性胆嚢炎の3例検討	Web	一般口演
元 志宏	腎臓内科	2021.6.4-6	第66回日本透析医学学会学術集会	硬便によりS状結腸穿孔をきたした血液透析患者	Web	ポスター
元 志宏	腎臓内科	2021.6.18-20	第64回日本腎臓学会学術総会	血液透析患者でのイバンドロン酸ナトリウム投与に伴う骨代謝マーカー、骨密度の変化	Web	ポスター
元 志宏	腎臓内科	2021.10.2-3	第32回日本急性血液浄化学会学術集会	持続血液濾過透析 (CHDF) の回路凝固を契機に診断されたヘパリン起因性血小板減少症 (HIT) の1例	Web	一般口演
木山 宏	心臓血管外科	2021.5.19-21	第49回日本血管外科学会学術集会	TEVAR後の逆行性A型解離7例の検討	Web	一般口演
加藤泰之	心臓血管外科	2021.10.31-11.3	第74回日本胸部外科学会定期学術集会	①僧帽弁位活動期感染性心内膜炎に対する僧帽弁形成術の早期および中期成績 どこまで形成術が可能か ②Ischemic functional MRに対する僧帽弁後尖パッチ拡大術 ～中期成績からみた考察～	東京	一般口演
加藤泰之	心臓血管外科	2021.11.5-6	ストラクチャークラブ・ジャパン ライブデモンストレーション 2021	開心術にて症状の劇的な改善が得られた重症ASを伴うhigh risk 連合弁膜症の2例	Web	一般口演
佐々木健一	心臓血管外科	2021.4.17	第8回日本心臓血管脳卒中学会学術集会	心房細動合併大動脈弁置換術における単独左心耳切除は有効か?	Web	一般口演
伊達勇佑	心臓血管外科	2021.5.19-21	第49回日本血管外科学会学術集会	腹部大動脈瘤真腔狭小化を伴う急性大動脈解離 Stanford Type B に対する extended PETTICOAT での救命例	Web	一般口演
伊達勇佑	心臓血管外科	2021.7.15-16	第26回日本冠動脈外科学会学術大会	周術期にImpellaを用いたVSPの手術手技と手術成績の検討	山口	シンポジウム
伊達勇佑	心臓血管外科	2021.10.14-11.14	第62回脈管学会学術総会	腹部大動脈瘤の急性動脈閉塞に対する緊急腹部ステントグラフト内挿術による救命例	Web	一般口演
伊達勇佑	心臓血管外科	2021.10.31-11.3	第74回日本胸部外科学会定期学術集会	①VSP修復術のアプローチ変更および周術期Impella導入による手術成績の初期検討 ②周術期Impellaを用いた心臓大血管手術の手術成績	東京	一般口演
陣野太陽	心臓血管外科	2021.10.31-11.3	第74回日本胸部外科学会定期学術集会	大動脈解離の上行大動脈置換における逆行性脳灌流と術後脳梗塞	東京	一般口演
児玉ひとみ	乳腺内分泌外科	2021.10.28-29	第54回日本内分泌外科学会学術大会	外科医と病理医のクロストーク: 高悪性度甲状腺癌	Web	特別講演
中村 靖	乳腺内分泌外科	2021.6.3-4	第33回日本内分泌外科学会総会	造影CTにて局在診断を確実にした、多腺腫大により局在診断が困難であった傍食道副甲状腺腺腫の1例	Web	一般口演
中村 靖	乳腺内分泌外科	2021.10.28-29	第54回日本内分泌外科学会学術集会	IONM使用下における一過性反回神経麻痺	Web	ポスター
中村 靖	乳腺内分泌外科	2021.11.18-20	第83回日本臨床外科学会総会	術中ICG 蛍光イメージングによって漏出部を視認した、乳癌術後難治性リンパ漏の2例	Web	一般口演
山田哲也	整形外科	2021.4.22-23	第64回日本手外科学会学術総会	過伸展時に生じた得発性前骨間神経麻痺の治療経験	Web	一般口演
角谷 智	整形外科	2021.4.22-24	第50回日本脊椎脊髄病学会学術集会	Pedicle screwに引き抜きを生じる要因の検討ー術中Cone-beam CTと術後早期CTとの比較ー	Web	一般口演
角谷 智	整形外科	2021.10.1-2	第30回日本脊椎インストルメンテーション学会	経皮的椎弓根スクリュー (PPS) に引き抜きを生じる要因の検討	名古屋	ポスター
高橋 晃	整形外科	2021.7.7-31	第51回日本人工関節学会	大腿骨近位部の広範壊死を契機として生じた大腿骨頭軟骨下脆弱性骨折に対してTHAを施行した一例	Web	ポスター
都築伸介	脳神経外科	2021.10.27-30	日本脳神経外科学会第80回学術総会	整容に配慮した未破裂脳動脈瘤開頭クリッピング術	横浜	一般口演
徳重一雄	脳神経外科	2021.10.26	2021年度第1回日本神経内視鏡学会主催講習会		横浜	講師
徳重一雄	脳神経外科	2021.10.27-30	日本脳神経外科学会第80回学術総会	神経内視鏡手術の可能性ー静脈洞内病変への挑戦ー	横浜	一般口演
徳重一雄	脳神経外科	2021.11.18-19	第28回日本神経内視鏡学会	一般口演5 血腫2	愛知	座長

石心会グループ学会発表一覧 (2021.4 ~ 2021.11)

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
徳重一雄	脳神経外科	2021.11.18-19	第28回日本神経内視鏡学会	静脈洞内浸潤を伴った髄膜腫の2症例における神経内視鏡支援の試み	愛知	一般口演
徳重一雄	脳神経外科	2021.11.20	2021年度第2回日本神経内視鏡学会主催講習会		愛知	講師
南村鎌三	脳神経外科	2021.10.27-30	日本脳神経外科学会第80回学術総会	静脈パターンとIndocyanine green(ICG)で考える静脈の温存と切断の可否	Web	ポスター
近藤竜史	脳血管内治療科	2021.8.21	第2回日本脳神経内科学会血管治療研究会学術集会 JSVIN2021	Penumbra System® MeVO を含めた治療戦略	大阪	特別講演
近藤竜史	脳血管内治療科	2021.11.25-27	第37回NPO法人日本脳血管内治療学会学術集会	Diagnostic Imaging・Cerebral Angiography・Diagnostic Support	Web	座長
近藤竜史	脳血管内治療科	2021.11.25-27	第37回NPO法人日本脳血管内治療学会学術集会	CASPERはCASの適応を変えるか?	Web	一般口演
近藤竜史	脳血管内治療科	2021.11.25-27	第37回NPO法人日本脳血管内治療学会学術集会	Visualization of Intracranial Stent Using Intravenous Enhanced Conebeam CT	Web	一般口演
石原正一郎	脳血管内治療科	2021.11.18-19	第28回日本神経内視鏡学会	特別企画 2 海外留学のすすめーキャリアパスと異文化交流を考えるー	愛知	座長
實重 学	泌尿器科	2021.11.11-13	第35回日本泌尿器内視鏡学会総会	腹腔鏡下膀胱全摘 (LRC)・体腔内尿路変向 (ICUD:回腸導管)の経験	Web	ポスター
白石哲也	リハビリテーション科	2021.6.8-11	第35回人工知能学会全国大会	機械学習による血液検査データを用いた COVID-19 PCR 陽性予測	Web	論文
西川順治	リハビリテーション科	2021.9.26	第75回日本リハビリテーション医学会関東地方会	健康成人を用いた口輪筋の Electroneuronography における基準電極位置の検討	Web	一般口演
熊坂礼音	リハビリテーション科	2021.6.19	第27回日本心臓リハビリテーション学会学術集会	心肺運動負荷試験編	幕張	講師
内野 晃	放射線科	2021.7.1-3	第41回神経放射線ワークショップ	右内頸動脈異所性走行と前環椎動脈1型の合併例	Web	症例出題
内野 晃	放射線科	2021.7.24	第572回NR懇話会	上矢状静脈洞～右内頸静脈血栓症、右 vein of Trolard 領域の出血性静脈性梗塞	Web	症例出題
内野 晃	放射線科	2021.9.4	第573回NR懇話会	右外頸動脈一内頸動脈吻合	Web	症例出題
内野 晃	放射線科	2021.10.9	第574回NR懇話会	多発脳動脈破格	東京	症例出題
本田憲業	放射線科	2021.5.29	第72回IHE勉強会 in WEB(初級編)	放射線 (RAD) 分野	Web	講師
本田憲業	放射線科	2021.6.10-12	第25回日本医療情報学会春季学術大会	放射線 (RAD) ドメイン試験の勘所	Web	講師
山崎美保子	放射線科	2021.6.19-21	第34回日本腹部放射線学会	intravascular lymphoma に類似した病理所見を示した肺癌のびまん性腎転移の一例	Web	ポスター
山崎美保子	放射線科	2021.7.1-3	第41回神経放射線ワークショップ	GFAP astrocytopathy の一例	Web	症例回答
中林航大	初期研修医	2021.7.3-4	第43回日本呼吸療法医学会学術集会	治療開始後に肺出血を合併した高力価抗 GBM 抗体値のグッドパスチャー症候群の一例	横浜	一般口演

【地方学会】

入江忠信	循環器内科	2021.6.5	第57回埼玉不整脈ベータリング研究会	右房中隔側での通電により根治が得られた Superior slow pathway を介する slow/slow type AVNRT の一例	Web (埼玉)	一般口演
入江忠信	循環器内科	2021.11.27	第58回埼玉不整脈ベータリング研究会	当院で新規診断した心アミロイドーシス9例の検討	Web (埼玉)	座長 一般口演
岩崎 司	循環器内科	2021.6.19	第260回 日本循環器学会関東甲信越地方会	心室中隔穿孔に対する IMPELLA の血行動態改善効果: Swan-Ganz カテーテルを用いた検討	Web	一般口演
柴田夏実	循環器内科	2021.5.14-15	第44回CVIT東海北陸地方会	機械的循環補助 (MCS) の内科的抜去における止血デバイスの検討	Web	一般口演
山内秀昂	心臓血管外科	2021.6.5	第186回日本胸部外科学会関東甲信越地方会	α 1 アンチトリプシン欠乏症患者の急性大動脈解離の一例	東京	一般口演
山内秀昂	心臓血管外科	2021.11.6	第187回日本胸部外科学会関東甲信越地方会	開窓型ステントグラフトの collapse に対して上行弓部置換術を施行した一例	東京	一般口演
陣野太陽	心臓血管外科	2021.11.6	第187回日本胸部外科学会関東甲信越地方会	腱索断裂による重症三尖弁閉鎖不全症を人工腱索により修復した一例	東京	一般口演
井上真太郎	整形外科	2021.9.4	第68回埼玉手外科研究会	Watson 法による複数指伸筋腱脱臼の治療経験	埼玉	一般口演

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
都築伸介	脳神経外科	2021.4.3	第144回一般社団法人日本脳神経外科学会関東支部学術集会	神経内視鏡 assist にて摘出した横静脈洞 -S 状静脈洞内再発髄膜腫の一例	東京	一般口演
都築伸介	脳神経外科	2021.7.7	第270回埼玉脳神経外科懇話会	横静脈洞 -S 状静脈洞内髄膜腫による静脈還流障害から後頭葉内に出血をきたした1例 ー神経内視鏡 assist にて摘出した横静脈洞 -S 状静脈洞内髄膜腫ー	Web	一般口演
徳重一雄	脳神経外科	2021.10.31	2021年度日本神経内視鏡学会認定講習会		埼玉	講師
南村謙三	脳神経外科	2021.9.4	第145回日本脳神経外科学会 関東支部学術集会	経シルビウス裂アプローチにおいて術野展開の妨げとなるのはどのような静脈パターンか、またその対処法について	東京	一般口演
佐藤 翔	脳神経外科	2021.8.21	第20回NPO法人日本脳神経血管内治療学会 関東地方学術集会	重症脳静脈洞血栓症に対して急性期血行再建術が著効した一例	Web	一般口演
佐藤 翔	脳神経外科	2021.9.4	第145回日本脳神経外科学会 関東支部学術集会	重症脳静脈洞血栓症に対して血栓吸引療法が著効した一例	東京	一般口演
近藤竜史	脳血管内治療科	2021.8.21	第20回NPO法人日本脳神経血管内治療学会 関東地方学術集会	血栓回収の現状と update 再開通困難 合併症例から学ぶ	Web	座長
石原正一郎	脳血管内治療科	2021.7.20	EVT Expert Forum in 関東甲信越	Saitama Stroke Network(SSN) の取組みと現場体制の構築	Web	特別講演
石原正一郎	脳血管内治療科	2021.8.21	第20回NPO法人日本脳神経血管内治療学会 関東地方学術集会	Mevo に対する治療戦略	Web	座長
石原正一郎	脳血管内治療科	2021.8.27	埼玉県「脳卒中とてんかん診療」を考える会	てんかんと脳卒中	Web	座長
掛樋善明	脳血管内治療科	2021.8.21	第20回NPO法人日本脳神経血管内治療学会 関東地方学術集会	親血管閉塞術にて虚血性合併症なく根治を得た後小脳動脈解離性動脈瘤の一例	Web	一般口演
土岐和芳	麻酔科	2021.9.4-10.4	麻酔科学会関東甲信越東京支部 第61回合同学術集会	緊急手術開始前に IABO を挿入し救命した腹部大動脈破裂の一例	Web	ポスター

【講演】

芝崎太郎	循環器内科	2021.4.9	Essential ARNI Web Live Symposium	ARNI をどのように心不全の治療戦略に組み込むか？	川越	パネリスト
芝崎太郎	循環器内科	2021.5.20	Antithrombotic therapy Web conference -失神による転倒と出血-	よりよい診断ツールとして低侵襲な挿入型心電図記録計とは？	Web	演者
芝崎太郎	循環器内科	2021.6.3	日本における心不全治療の新たな展開 -Before ARNI vs With ARNI-	エンレスト使用経験	川越	演者
芝崎太郎	循環器内科	2021.9.1	心不全WEBセミナー サムスカ10周年記念講演会	心不全治療におけるサムスカの使い方について	川越	パネリスト
芝崎太郎	循環器内科	2021.9.2	Advancing Patient Management (ICM 適応について再考する)	ICM の適応と当院での運用	Web	演者
芝崎太郎	循環器内科	2021.9.8	Pharmacist Web セミナー	冠動脈ステント留置後の抗血小板療法 ～ DAPT から SAPT へ～	Web	演者
芝崎太郎	循環器内科	2021.9.17	地域医療連携診療連携 Webinar ～増え続ける心不全患者のトータルマネジメント～		Web	座長
芝崎太郎	循環器内科	2021.10.14	Web Seminar ～西部・南西部医療圏の循環器診療を考える～	クロージングリマークス	Web	講演
芝崎太郎	循環器内科	2021.10.15	循環器病連携WEBセミナー	ARNI 導入をきっかけに見直す慢性心不全患者の治療	狭山	座長
芝崎太郎	循環器内科	2021.10.28	[川越会場] ARNI National Symposium	エンレスト有用性	Web	演者
芝崎太郎	循環器内科	2021.11.6	中性脂肪そこが知りたい 狭山地区聴講会	虚血性心疾患と中性脂肪	狭山	演者
芝崎太郎	循環器内科	2021.11.11	西埼玉エリア Web講演会 CLTI の治療戦略 ～新しいアフレシス療法「レオカーナ」		Web	座長
芝崎太郎	循環器内科	2021.11.29	循環器疾患学術講演会 テーマ:高血圧症・慢性心不全	高血圧合併心不全での使用経験	川越	パネリスト

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
入江忠信	循環器内科	2021.4.23	第2回Biotronik Web Symposium～CRT植込み後の管理について考える～	twitching について	Web	パネリスト講演
入江忠信	循環器内科	2021.5.21	埼玉西部ARNI Web Symposium		Web	座長
入江忠信	循環器内科	2021.6.30	AF Care Forum	広角打法！不整脈診療～リズム以外にも興味を持とう～	Web	講演
入江忠信	循環器内科	2021.7.7	狭山入間エリアWEBセミナー	やる？やらない？抗凝固療法&アブレーション	Web	講演
入江忠信	循環器内科	2021.7.30	エンレスト承認1周年記念全国講演会	当院におけるエンレスト使用の2例	Web	講演
入江忠信	循環器内科	2021.8.10	第1回CLS座談会		Web	座長
入江忠信	循環器内科	2021.9.10	S-ICDセミナー	S-ICD ことはじめ	Web	講演
入江忠信	循環器内科	2021.9.17	地域医療病診連携 Webinar～増え続ける心不全患者のトータルマネージメント～	心不全管理について～内服加療から突然死予防まで～	Web	講演
入江忠信	循環器内科	2021.9.22	埼玉西部地区不整脈ネットワーク講演会		Web	座長
入江忠信	循環器内科	2021.10.18	埼玉西部地区 不整脈診療を盛り上げる会	不整脈の Total Care を考える～早期発見・診断・治療まで～	Web	講演
入江忠信	循環器内科	2021.10.19	Cryo Ablation WEB講演会	持続性心房細動に対する CryoAblation	Web	コメンテーター
入江忠信	循環器内科	2021.10.20	心臓を守るための地域連携WEBセミナー	不整脈の窓から患者さんを診る～患者さんの人生に寄り添った抗凝固療法を含めて～	Web	講演
入江忠信	循環器内科	2021.11.17	ESUSを語る会		Web	ディスカッサー
近藤竜史	脳血管内治療科	2021.8.20	高齢者AFのトータルケアを考える会	コロナ禍における血栓回収療法	Web	講演
近藤竜史	脳血管内治療科	2021.11.4	東北脳血管内治療最前線LIVE	旧正規脳梗塞治療チームの形成	Web	講演
熊坂礼音	リハビリテーション科	2021.5.17	心臓リハビリを包括的に考える会	循環器とスポーツ医学について考える	Web	特別講演
熊坂礼音	リハビリテーション科	2021.6.9	2021 SAMSCA Week	コロナ禍における心リハについて	Web	特別講演
熊坂礼音	リハビリテーション科	2021.7.1	多摩心臓リハビリテーションWebセミナー	心臓リハビリテーションの立ち上げと普及のこつ	Web	講演
西川順治	リハビリテーション科	2021.9.26	令和3年度介護認定審査会研修会	介護保険主治医意見書の書き方と介護保険でのリハビリテーションの支持の出し方、進め方について	Web	講演

看護部

福島俊江	看護部	2021.8.28-29	第25回 日本看護管理学会学術集会	インフォメーションエクスチェンジ「コロナ禍の危機対応から見えてきた看護マネジメントの課題」	Web	シンポジスト
荒木妙子	看護部	2021.8.28-29	第25回 日本看護管理学会学術集会	副師長が支援を受けながら自部署の問題解決に取り組むプロセスの実践報告	Web	口演
下室公子	看護部	2021.8.28-29	第25回 日本看護管理学会学術集会	COVID-19 対応部署と非対応部署の比較～COVID-19 対応者のためのストレスチェックリストのアンケート結果より～	Web	ポスター
小林比呂子	看護部	2021.8.28-29	第25回 日本看護管理学会学術集会	A病院の退院支援研修修了者への面接結果から今後の退院支援教育について	Web	ポスター
六反勝美	看護部	2021.8.28-29	第25回 日本看護管理学会学術集会	チーム支援型教育体制における新人教育担当者の実践評価と今後の課題	Web	ポスター
藤井宏美	1A	2021.6.12	日本集中治療医学会 第5回関東甲信越支部会学術集会	DNARとなった COVID-19 高齢患者に最新のエビデンスを活用した看護実践をすることで退院となった1事例	Web	ポスター
藤井宏美	1A	2021.7.3-4	第43回 日本呼吸療法医学会学術集会	ICU 入室中より RST・早期離床チーム・病棟スタッフとのシームレスなチーム医療により人工呼吸器離脱した1症例	横浜	口演
上原香織	4A	2021.11.18-19	第52回 日本看護学会学術集会	主任看護師がとらえた理想の「臨床教育看護師」像とは～1年間のワーキンググループ活動に参加して～	Web	ポスター
早川知花	5A	2021.11.18-19	第52回 日本看護学会学術集会	術前から退院後にかけて積極的に骨盤底筋体操を継続してもらったための看護介入	Web	ポスター

薬剤部

小倉弥生	薬剤部	2021.10.9-10	第31回 日本医療薬学会年会	当院のポリファーマシー対策チームの活動とその成果について	Web	ポスター
村田 諭	薬剤部	2021.8.28-29	日本病院薬剤師会関東ブロック第51回学術大会	難治性膿胸患者に AST 担当薬剤師が介入し、服薬指導から化膿性脊椎炎、腸腰筋膿瘍の診断に寄与した1例	Web	ポスター

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
村田 諭	薬剤部	2021.10.27-29	第68回 日本化学療法学会東日本支部総会第70回日本感染症学会東日本地方会学術集会合同学会	AMR 対策アクションプランの成果指標達成に向けて	Web	一般口演
齋藤華澄	薬剤部	2021.8.28-29	日本病院薬剤師会関東ブロック第51回学術大会	薬剤部内での服薬指導ロールプレイの有用性の検討	Web	ポスター

リハビリテーション部

荒井幹人	リハビリテーション部	2021.5.28	第16回 埼玉心臓血管リハビリテーション研究会	当院の外来心臓リハビリテーション	Web	口述
福原弘之	リハビリテーション部	2021.6.19-20	第27回 日本心臓リハビリテーション学会学術集会	再発を繰り返す左下行枝狭心症症例に対し内服調整と心リハが着効した一例	Web	口述
芦澤沙紀、松岡穂奈美	リハビリテーション部	2021.7.3-4	第43回 日本呼吸療法医学会学術集会	低酸素血症を改善するためのリハビリテーションとケア	横浜	口述
仲 桂吾	リハビリテーション部	2021.8.21	日本脳血管内治療学会関東地方会学術集会	血栓回収療法後の遅発性神経症状悪化に関する機能評価を用いた後方視的調査	Web	口述
水沢沙也加	リハビリテーション部	2021.9.30-10.1	第45回 日本神経心理学学会学術集会	基底核損傷に伴い重度の皮質下性失語を生じた一症例の考察	Web	口述
中野奨洋	リハビリテーション部	2021.11.24-25	令和3年度 西部ブロック川越エリア症例検討会	右大腿骨頸部骨折術後の自宅復帰に向けた症例	Web	口述
山田夢香	リハビリテーション部	2021.11.24-25	令和3年度 西部ブロック川越エリア症例検討会	左変形性膝関節症にて人工膝関節全置換術を施行した症例～残存する歩行時痛の軽減を目指して～	Web	口述

放射線部

高岡芳徳	放射線部	2021.11.11	新潟脳血管内治療エキスパート養成ワークショップ 番外編	Door to Recanalization 時間短縮のコツ！～放射線技師の視点から～ CT 撮影法（Door to Data）	Web	一般口演
河原大悦	放射線部	2021.11.11	新潟脳血管内治療エキスパート養成ワークショップ 番外編	Door to Recanalization 時間短縮のコツ！～放射線技師の視点から～ 血栓回収（入室から開始まで）	Web	一般口演
庄谷宗嗣	放射線部	2021.8.28	第44回IVR被ばく低減技術セミナー	被ばく低減ちょっとした工夫	Web	口述
邸井優大	放射線部	2021.4.15-18	第77回日本放射線技術学会総会学術大会	Dual Energy CT による Virtual Gray-matter Map の基礎的検討	パシフィコ横浜	一般口演
中根寛人	放射線部	2021.4.15-18	第77回日本放射線技術学会総会学術大会	リアルタイムステント強調画像における視認性向上の検討	パシフィコ横浜	一般口演
中出尚吾	放射線部	2021.4.15-18	第77回日本放射線技術学会総会学術大会	異なる受信コイルにおける多断面同時励起を用いた頭部拡散強調画像の検討	パシフィコ横浜	モニタ
吉野冬馬	放射線部	2021.4.15-18	第77回日本放射線技術学会総会学術大会	計測ツールにおける各キャリブレーションでの計測精度の検討	パシフィコ横浜	一般口演
吉野冬馬	放射線部	2021.11.20	第380回循環器画像研究会	心臓 CT の活用法	Web	一般口演
田中果歩	放射線部	2021.11.20	第380回循環器画像研究会	テクニカルディスカッション	Web	一般口演
齋藤裕樹	放射線部	2021.8.21	第20回NPO法人日本脳神経血管内治療学会関東地方会・学術集会	IV-Cone beam CT は IA-Cone beam CT を凌駕する？ IV-Cone beam CT で頭蓋内 STENT 内腔・ストラット評価（一押し画像コンテスト）	Web	ポスター

CE部

追鳥瑞稀	CE部	2021.6.4-6	日本透析医学会学術集会・総会	臨床工学技士によるVascularAccess(VA)術前マッピングエコーの取り組み	Web (横浜)	ポスター
------	-----	------------	----------------	--	----------	------

栄養部

佐藤絵美	栄養部	2021.10.10	第8回 日本臨床栄養代謝学会 関東支部学術集会	回復期リハビリテーション病棟患者の栄養充足率が、FIM に及ぼす影響について	Web	一般口演
安達順子	栄養部	2021.7.21-22	第36回 日本臨床栄養代謝学会学術集会	早期栄養介入加算算定開始前後を比較し栄養介入効果検証する	Web	一般口演

検査部

安藤恭代	検査部	2021.7.15	第23医療マネジメント学会	管理職への役割転換 に関する調査～臨床検査技師の管理職の事例より～	Web	一般公演
小林保彦	生理検査室	2021.6.17	第57回日本肝臓学会総会	肝炎コーディネーターによる「埼玉石心会病院の肝炎対策チーム活動」	Web	一般公演
小川弘美	病理検査室	2021.9.21	埼玉県臨床検査技師会2021年度障害教育研修プログラム	認定試験直前！！細胞診セルフチェックシリーズ第3弾 甲状腺編	Web	講師

EMT 課

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
熊谷 淳	EMT課	2021.11.21	第49回 日本救急医学会総会・学術総会	めまいを主訴とした症例の脳血管障害のスクリーニングにバイタルサインは有用か	東京	一般口演

心理相談室

鈴木康弘	心理相談室	2021.6.19-20	第27回 日本心臓リハビリテーション学会学術集会	急性期から外来まで一環したケアを提供する 心理師のリアルワールド ー多職種や組織からの期待を交えてー	Web	シンポジウム
------	-------	--------------	--------------------------	---	-----	--------

医療安全対策室

渡邊両治	医療安全対策室	2021.9.11-12	第19回 日本臨床医学リスクマネジメント学会学術集会	コロナ禍での病院受診と難病罹患への不安を抱えた患者・家族に対するメディエーション	松本	一般口演
渡邊両治	医療安全対策室	2021.11.27-28	第16回 医療の質・安全学会 学術集会	急変報告（インシデントレポート）から、メディエーションを実施した事例報告	Web	一般口演

医療機器管理センター

里村知克	医療機器管理センター	2021.7.10	TOPIC 2021	合併症の予防と対策 - あなたはどう動く? - Case 2 ワイヤーパワフォレーション	Web	パネルディスカッション
------	------------	-----------	------------	--	-----	-------------

論文・教科書執筆等

診療部

発表者	部署	雑誌名	タイトル	分類
山根正久	循環器内科	Journal of the American College of Cardiology 78(8):840-853	Global Chronic Total Occlusion Crossing Algorithm	論文
入江忠信	循環器内科	Therapeutic Research vol. 42 no. 10 2021	右房中隔側での通電により根治が得られた Superior slow pathway を介する slow/slow type AVNRT の1例	Case Report
陣野太陽	心臓血管外科	General Thoracic and Cardiovascular Surgery. 69, 1511-1514 (2021)	Pannus-related left main trunk ostial stenosis after aortic valve replacement	論文
近藤竜史	脳血管内治療科	NMC Case Report Journal	Endovascular Treatment for Acute Ischaemic Stroke Caused by Vertebral Artery Dissection: A Report of Three Cases and Literature Review	論文 (Case report)
近藤竜史	脳血管内治療科	パーフェクトマスター脳血管内治療	急性脳血管閉塞	著書
内野 晃	放射線科	Surgical and Radiologic Anatomy 2021;43 (6): 943-944	Right vertebral artery arising from the extreme proximal right subclavian artery and entering the third transverse foramen: CT angiographic demonstration.	Letter
内野 晃	放射線科	Surgical and Radiologic Anatomy 2021;43 (6): 1019-1022	Ascending pharyngeal artery-posterior inferior cerebellar artery anastomosis via the jugular foramen: a case report and literature review.	Case Report
内野 晃	放射線科	Surgical and Radiologic Anatomy 2021;43:1731-1733	Persistent primitive olfactory artery associated with early bifurcated accessory anterior cerebral artery	雑誌 (Case report)
内野 晃	放射線科	Surgical and Radiologic Anatomy 2021;43:1947-1950	Type 2 persistent primitive olfactory artery associated with bilateral ophthalmic arteries arising from the middle meningeal arteries diagnosed by magnetic resonance angiography	雑誌 (Case report)
内野 晃	放射線科	Surgical and Radiologic Anatomy 2021;43:1951-1953	Type 4 persistent primitive olfactory artery associated with contralateral accessory middle cerebral artery arising from the fenestrated segment of the distal anterior cerebral artery	雑誌 (Case report)
内野 晃	放射線科	Surgical and Radiologic Anatomy 2021;43:1967-1968	Intracavernous internal carotid artery-originating ophthalmic artery entering the orbit via the optic canal	雑誌 (Letter)
内野 晃	放射線科	Surgical and Radiologic Anatomy 2021;43:1979-1981	Aberrant course of the precavernous-cavernous junction of the internal carotid artery	雑誌 (Case report)
内野 晃	放射線科	Springer 社 2021.11	Atlas of the Supraaortic Craniocervical Arterial Variations MR and CT Angiography	著書 (単著)

看護部

福島俊江・六反勝美	看護部	看護のチカラ 2021年4月15日号	埼玉石心会病院看護部の看護教育センター設立の狙いと人材づくりに向けた活動	雑誌
六反勝美	看護部	メヂカルフレンド社 看護展望 2021年4月増刊号	ウィズコロナ時代の新人教育 ー所属部署ごとの現場教育力の強化に向けた取り組みー	雑誌
六反勝美	看護部	メヂカルフレンド社 看護展望 2021年7月増刊号	コロナ禍の今、臨地実習の在り方を再考する	雑誌

EMT 課

熊谷 淳	EMT課	救急救命士ジャーナル	急性冠症候群における救急隊現場滞在時間と治療開始までの時間との関連について	雑誌
------	------	------------	---------------------------------------	----

◆さやま腎クリニック

学会発表

診療部

【全国学会】

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
池田直史	腎臓内科	2021.6.4	第66回日本透析医学会総会 共催シンポジウム3	Calcimimetics 注射製剤による管理の利点	Web・横浜	講演
野平由香	腎臓内科	2021.6.6	第66回日本透析医学会総会	当院における高カリウム血症に対するジルコニウムシクロケイ酸ナトリウム水和物の使用経験	横浜	ポスター
池田直史	腎臓内科	2021.6.6	第66回日本透析医学会総会	CKD-MBD4	横浜	座長
池田直史	腎臓内科	2021.9.19	第23回日本在宅血液透析学会 共催セミナー4	透析患者の電解質管理	Web(全国)	講演
池田直史	腎臓内科	2021.10.2	第32回日本急性血液浄化学会学術集会 ランチョンセミナー4	Calcimimetics 注射製剤による管理の利点	Web・大宮	講演

【地方学会】

池田直史	腎臓内科	2021.5.8	第668回日本内科学会関東地方会	(腎臓分野)	Web(東京)	座長
池田直史	腎臓内科	2021.6.20	第44回青森人工透析研究会	CKD-MBD 管理目標値達成に向けた SHPT のより良い治療とは	Web(青森)	講演

【講演会】

池田直史	腎臓内科	2021.4.8	最新の知見とともにCKDを考える会	CKD 患者における冠動脈病変の新しい知見	Web(埼玉)	講演
池田直史	腎臓内科	2021.4.16	ビートル LIVE WEB 講演会	CKD-MBD に関する新しい知見	Web(関東)	座長
池田直史	腎臓内科	2021.4.23	腎疾患 トータルマネージメントケア	慢性腎臓病に対する栄養管理の注意点	Web(埼玉)	座長
池田直史	腎臓内科	2021.4.23	腎疾患 トータルマネージメントケア	保存期 CKD の食事療法	Web(埼玉)	座長
池田直史	腎臓内科	2021.4.24	Cutting Edge CKD-MBD	CKD-MBD管理目標値達成に向けたSHPTのより良い治療とは	Web(全国)	講演
池田直史	腎臓内科	2021.5.13	Scientific Exchange Meeting	透析患者の電解質管理	Web(全国)	講演
池田直史	腎臓内科	2021.5.22	Cutting Edge CKD-MBD	CKD-MBD管理目標値達成に向けたSHPTのより良い治療とは	Web(全国)	講演
池田直史	腎臓内科	2021.5.28	Diabetes & Incretin Online Seminar in 埼玉西部	血液変動と酸化ストレスを考慮した糖尿病治療	Web(埼玉)	座長
池田直史	腎臓内科	2021.6.25	腎性貧血 New Frontier in 埼玉	腎貧血治療の歴史	Web(埼玉)	座長
池田直史	腎臓内科	2021.7.1	透析エリア WEB セミナー黒部	CKD-MBD管理目標値達成に向けたSHPTのより良い治療とは	Web(富山)	講演
池田直史	腎臓内科	2021.7.8	透析診療 UP Date in 香川	CKD-MBD管理目標値達成に向けたSHPTのより良い治療とは	Web(香川)	講演
池田直史	腎臓内科	2021.7.9	腎疾患 トータルマネージメントケア	CKD 患者における冠動脈病変の新しい知見	Web(埼玉)	講演
池田直史	腎臓内科	2021.7.13	パーサピブ エリア WEB セミナー	CKD-MBD管理目標値達成に向けたSHPTのより良い治療とは	Web(関東)	講演
池田直史	腎臓内科	2021.8.21	第3回 SHPT 治療セミナー in 宮崎	CKD-MBD管理目標値達成に向けたSHPTのより良い治療とは	Web(宮崎)	講演
池田直史	腎臓内科	2021.8.24	WEB セミナー	CKD-MBD管理目標値達成に向けたSHPTのより良い治療とは	Web(全国)	講演
池田直史	腎臓内科	2021.9.2	CKD-MBD セミナー in 埼玉	Calcimimetics 注射製剤を用いた管理の利点	Web(埼玉)	講演
池田直史	腎臓内科	2021.9.10	Diabetes and Kidney Disease Web Conference	糖尿病性腎臓病を考慮した糖尿病治療	Web(埼玉)	座長
池田直史	腎臓内科	2021.10.1	腎疾患 トータルマネージメントケア	臨床工学技士が VA 管理を行う意義を再考する	Web(埼玉)	座長
池田直史	腎臓内科	2021.10.1	腎疾患 トータルマネージメントケア	透析患者のカリウムを管理を再考する	Web(埼玉)	座長
池田直史	腎臓内科	2021.10.8	透析患者様の腎性貧血を考える会	CKD 患者の冠動脈病変と鉄	Web(関東)	講演

石心会グループ学会発表一覧（2021.4～2021.11）

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
池田直史	腎臓内科	2021.10.14	CKD-MBD Expert Meeting	CKD-MBD管理目標値達成に向けたSHPTのより良い治療とは	Web (山口)	講演
池田直史	腎臓内科	2021.10.22	DAPA Premium Symposium in 関東	心腎連関から考える SGLT2 阻害薬の有用性	Web (関東)	講演
池田直史	腎臓内科	2021.10.29	CKD フォーラム	心腎連関から考える SGLT2 阻害薬の有用性	Web (関東)	講演
池田直史	腎臓内科	2021.11.10	東葛北 CKD-MBD 講演会	Calcimimetics 注射製剤による管理の利点	Web (東京)	講演
池田直史	腎臓内科	2021.11.12	腎性貧血治療 WEB セミナー	CKD における腎性貧血治療と鉄管理	Web (埼玉)	講演
池田直史	腎臓内科	2021.11.26	Diabetes & Incretin Online Seminar in 埼玉	糖尿病早期治療における GLP- 1 受容体作動薬の可能性と期待	Web (埼玉)	座長

診療部以外

川鍋美恵	薬剤室	2021.7.9	腎疾患トータルマネジメントケア	腎疾患患者における服薬指導の注意点	オンライン	講演
石川一人	医療技術科 CE室	2021.10.1	腎疾患トータルマネジメントケア講演会	『臨床工学技士が VA 管理を行う意義を考察する』		Web 講演
野本洋平	医療技術科 CE室	2021.11.11	西埼玉エリアWeb講演会	『当院での CLTI の予防と治療後のフットケア』		Web 講演

◆立川介護老人保健施設わかば

学会発表

【全国学会】

川野和也	事務	2021.9.4-30	第 23 回日本災害看護学会年次大会	(シンポジウム 1 : コロナ禍における医療者の戦い～惨事ストレスを防ぐために～) 高齢者施設における新型コロナウイルス感染症クラスター発生の経験から	新潟県	Web
------	----	-------------	--------------------	---	-----	-----